

八幡市国民健康保険
第2期データヘルス計画
(平成30年度～平成35年度)

平成30年3月
八幡市

第1章 計画策定について	
1. 背景	4
2. 基本方針	5
3. データヘルス計画の位置づけ	6
4. 計画期間	6
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	7
(1) 基本情報	7
(2) 医療費等の状況	8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	9
① 特定健康診査	9
② 特定保健指導	11
(4) 介護保険の状況	13
(5) 主たる死因の状況	17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	19
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況	19
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容	21
① 特定健康診査事業	21
② 特定健康診査未受診者対策事業	22
③ 特定保健指導事業	23
④ 糖尿病予防教室(血糖値が高めの方の教室)	24
⑤ ジェネリック医薬品差額通知事業	25
3. 医療情報分析結果	26
(1) 基礎統計	26
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	28
① 高額レセプトの件数及び割合	28
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	30
(3) 疾病別医療費	34
① 大分類による疾病別医療費統計	34
② 中分類による疾病別医療費統計	38
4. 保健事業実施に係る分析結果	48
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	48
(2) 特定保健指導に係る分析	49
(3) 糖尿病の重症化に係る分析(健診異常値放置者)	50
(4) 糖尿病の重症化に係る分析(治療中断者)	51
(5) 糖尿病の重症化に係る分析(ハイリスク者)	52
(6) 受診行動適正化に係る分析	53
(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	55
5. 分析結果に基づく健康課題の把握	58
(1) 分析結果	58
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	62

第3章 保健事業実施計画		
1. 各事業の目的と概要一覧		63
2. 各事業の実施内容と評価方法		65
(1) 特定健康診査事業		65
(2) 特定健康診査未受診者対策事業		67
(3) 特定保健指導事業		70
(4) 糖尿病重症化予防事業		72
(5) 重複服薬者適正化指導事業		74
(6) ジェネリック医薬品差額通知事業		76
第4章 その他		
1. データヘルス計画の見直し		79
(1) 評価		79
(2) 評価時期		79
2. 計画の公表・周知		79
3. 事業運営上の留意事項		80
4. 個人情報の保護		80
巻末資料		
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		
2. 用語解説集		
3. 疾病分類表		

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組みべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととあります。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとします。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出します。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。

※レセプト分析システムおよび分析方法
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別します。

2. 基本方針

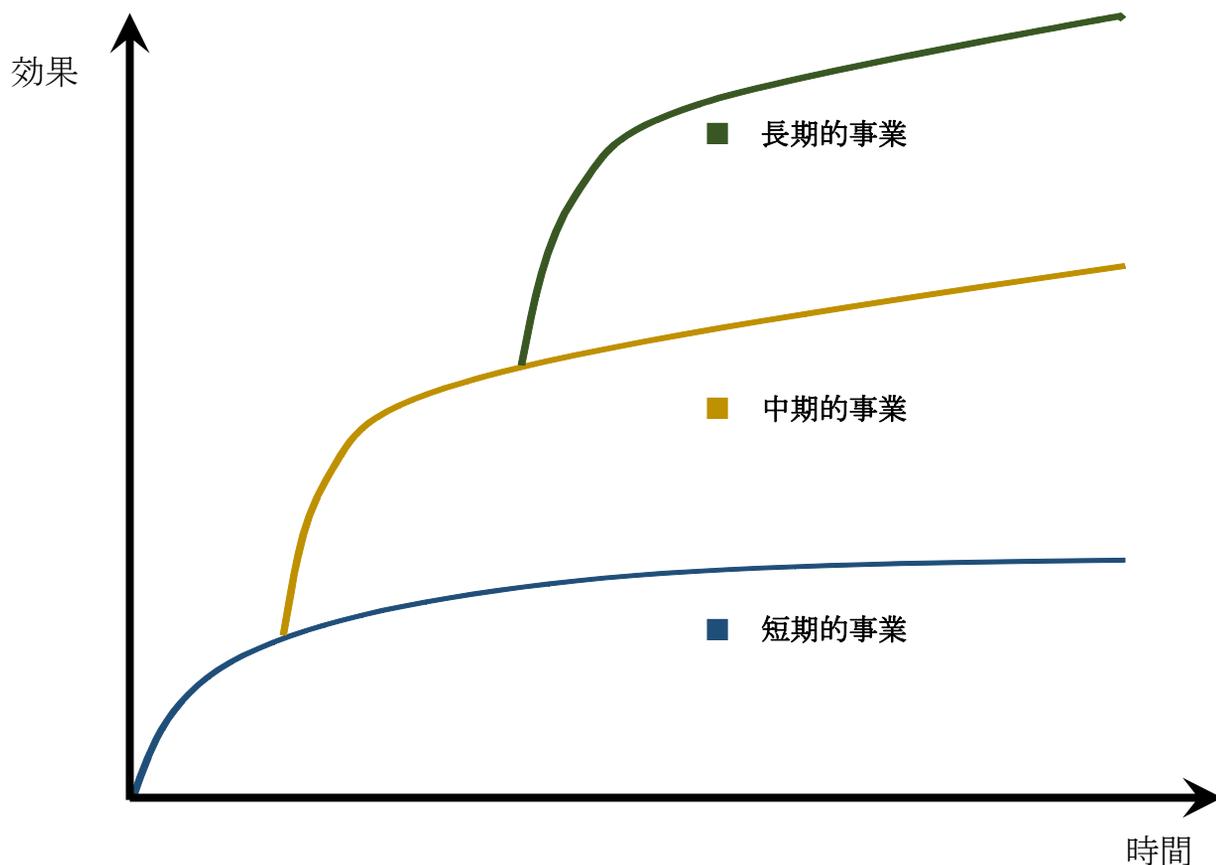
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を計画します。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載します。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これら事業を八幡市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施します。



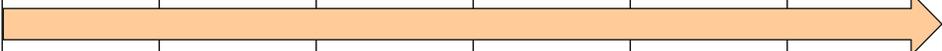
3. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、各種関連計画等で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要があります。

4. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

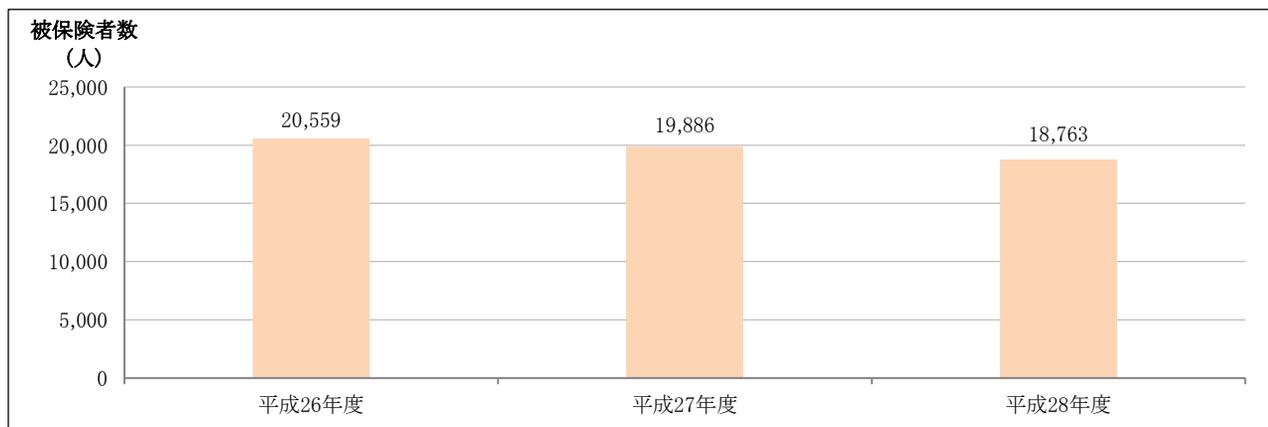
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示します。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数18,763人は平成26年度20,559人より1,796人減少しており、加入割合も減少してきています。市の人口も減少しており、高齢化率は年々上昇しています。

年度別 人口構成概要

区分	全市			国保世帯		国保被保険者	
	世帯数(世帯)	人口(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	加入割合(%)	人数(人)	加入割合(%)
平成26年度	32,058	72,992	27.0%	12,126	37.8%	20,559	28.2%
平成27年度	32,295	72,448	28.2%	11,934	37.0%	19,886	27.4%
平成28年度	32,508	71,958	29.1%	11,544	35.5%	18,763	26.1%

出典：平成28年度 国民健康保険報告書

年度別 被保険者数



(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示します。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	八幡市	府	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.3	0.3	0.3
診療所数	2.1	3.6	2.8	3.0
病床数	30.8	53.2	50.3	46.8
医師数	4.7	12.6	7.5	9.2
外来患者数	667.4	646.8	688.2	668.3
入院患者数	17.6	17.5	19.8	18.2
受診率	685.0	664.3	708.0	686.5
一件当たり医療費(円)	36,900	37,240	36,130	35,330
一般(円)	36,930	37,200	36,080	35,270
退職(円)	35,240	39,140	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	59.4%	59.6%	59.3%	60.1%
外来受診率	667.4	646.8	688.2	668.3
一件当たり医療費(円)	22,490	22,790	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	15,010	14,740	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	13,960	14,050	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.6	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	40.6%	40.4%	40.7%	39.9%
入院率	17.6	17.5	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	581,880	570,060	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	10,270	10,000	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	44,610	38,850	32,470	34,030
一件当たり在院日数	13.0	14.7	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

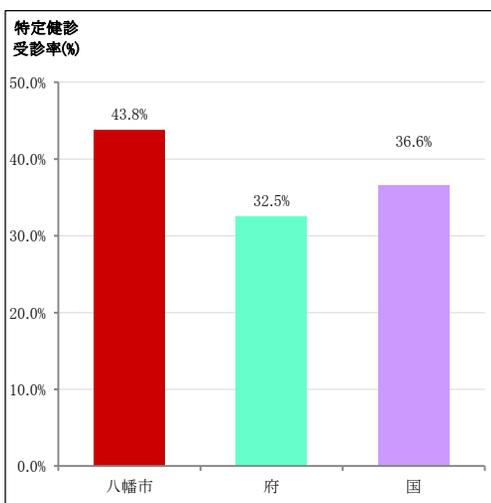
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示します。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
八幡市	43.8%
府	32.5%
国	36.6%

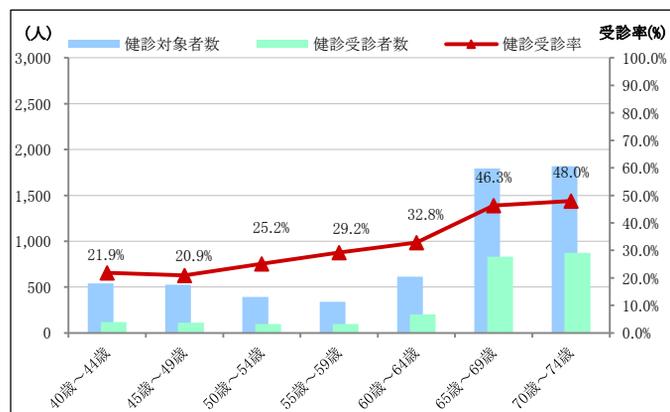
出典: 特定健診・特定保健指導法定報告結果

特定健康診査受診率(平成28年度)

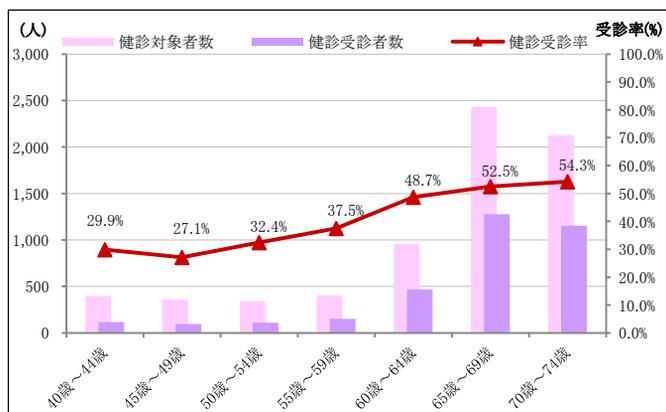


男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向があります。

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 特定健診等データシステム

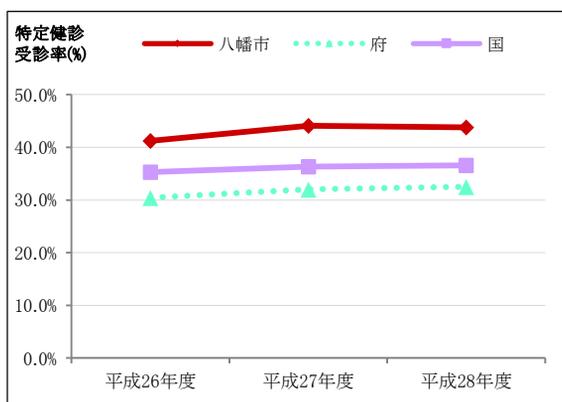
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示します。平成28年度の特定健康診査受診率43.8%は平成26年度41.2%より2.6ポイント上昇しています。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
八幡市	41.2%	44.1%	43.8%
府	30.4%	32.0%	32.5%
国	35.3%	36.3%	36.6%

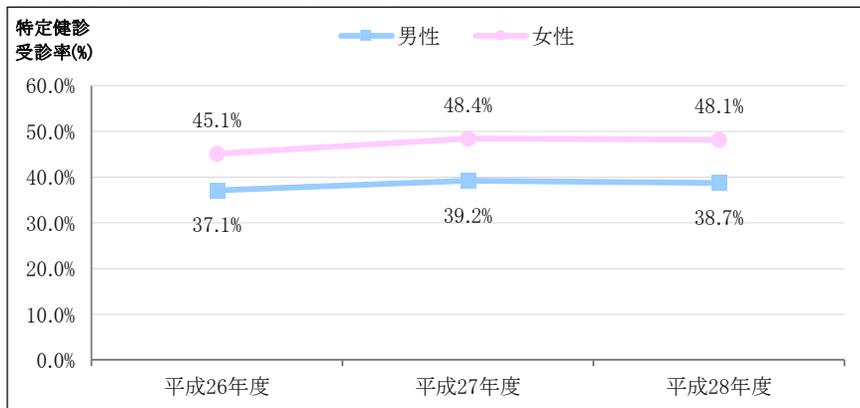
出典:特定健診・特定保健指導法定報告結果

年度別 特定健康診査受診率



男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率38.7%は平成26年度37.1%より1.6ポイント上昇し、女性の平成28年度受診率48.1%は平成26年度45.1%より3.0ポイント上昇しています。

年度・男女別 特定健康診査受診率



②特定保健指導

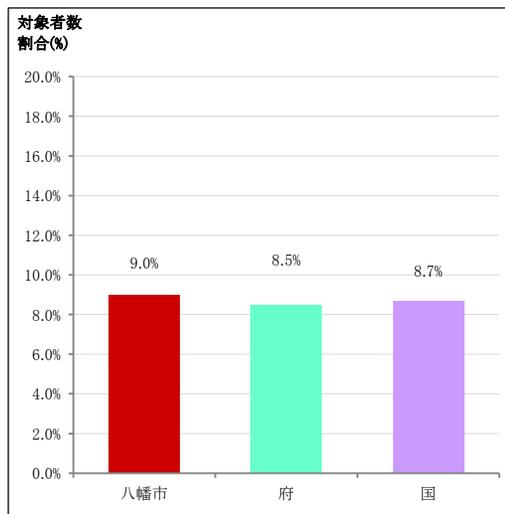
本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示します。

特定保健指導実施状況(平成28年度)

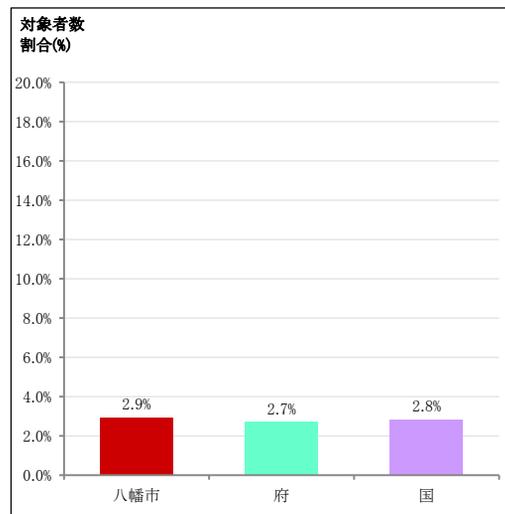
	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
八幡市	9.0%	2.9%	11.9%	5.3%
府	8.5%	2.7%	11.2%	19.1%
国	8.7%	2.8%	11.5%	26.3%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:特定健診・特定保健指導法定報告結果

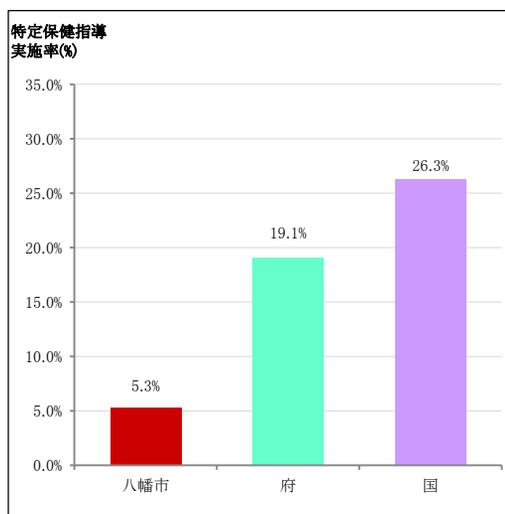
動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



積極的支援対象者数割合(平成28年度)



特定保健指導実施率(平成28年度)



本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示します。平成28年度の特定保健指導実施率は平成26年度9.3%より4.0ポイント低下しています。

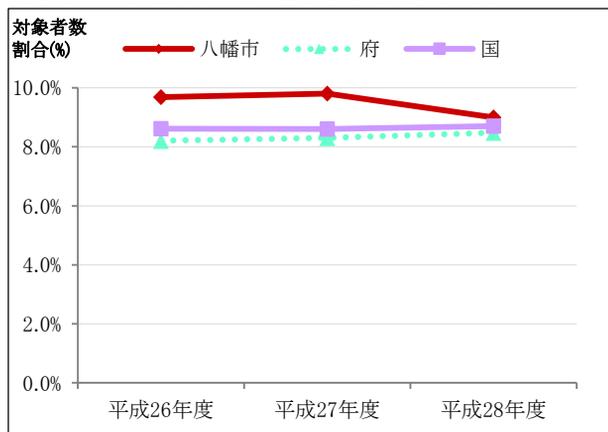
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
八幡市	9.7%	9.8%	9.0%	3.3%	3.1%	2.9%	13.0%	12.9%	11.9%	9.3%	8.5%	5.3%
府	8.2%	8.3%	8.5%	2.8%	2.7%	2.7%	11.0%	11.0%	11.2%	17.6%	17.3%	19.1%
国	8.6%	8.6%	8.7%	3.0%	2.9%	2.8%	11.6%	11.5%	11.5%	24.4%	25.1%	26.3%

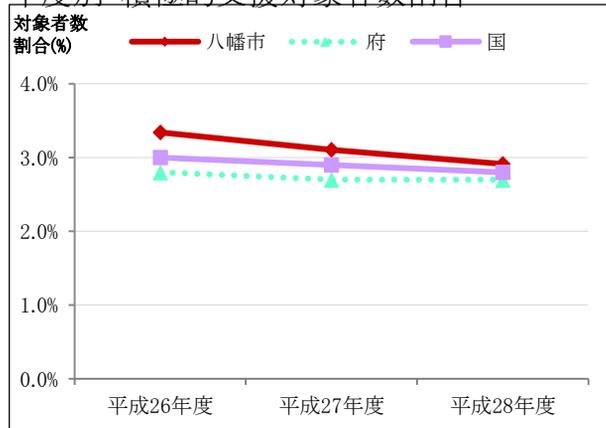
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

出典: 特定健診・特定保健指導法定報告結果

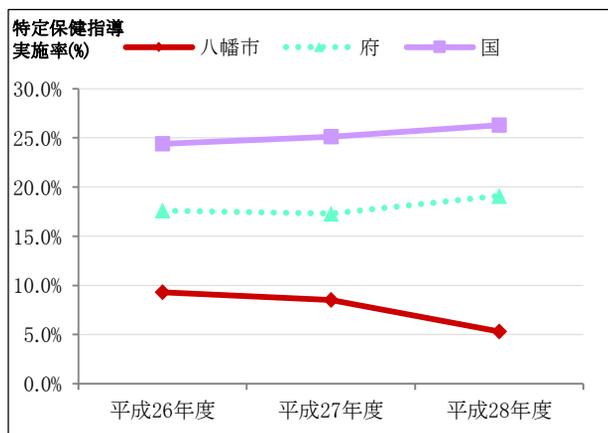
年度別 動機付け支援対象者数割合



年度別 積極的支援対象者数割合



年度別 特定保健指導実施率



(4) 介護保険の状況

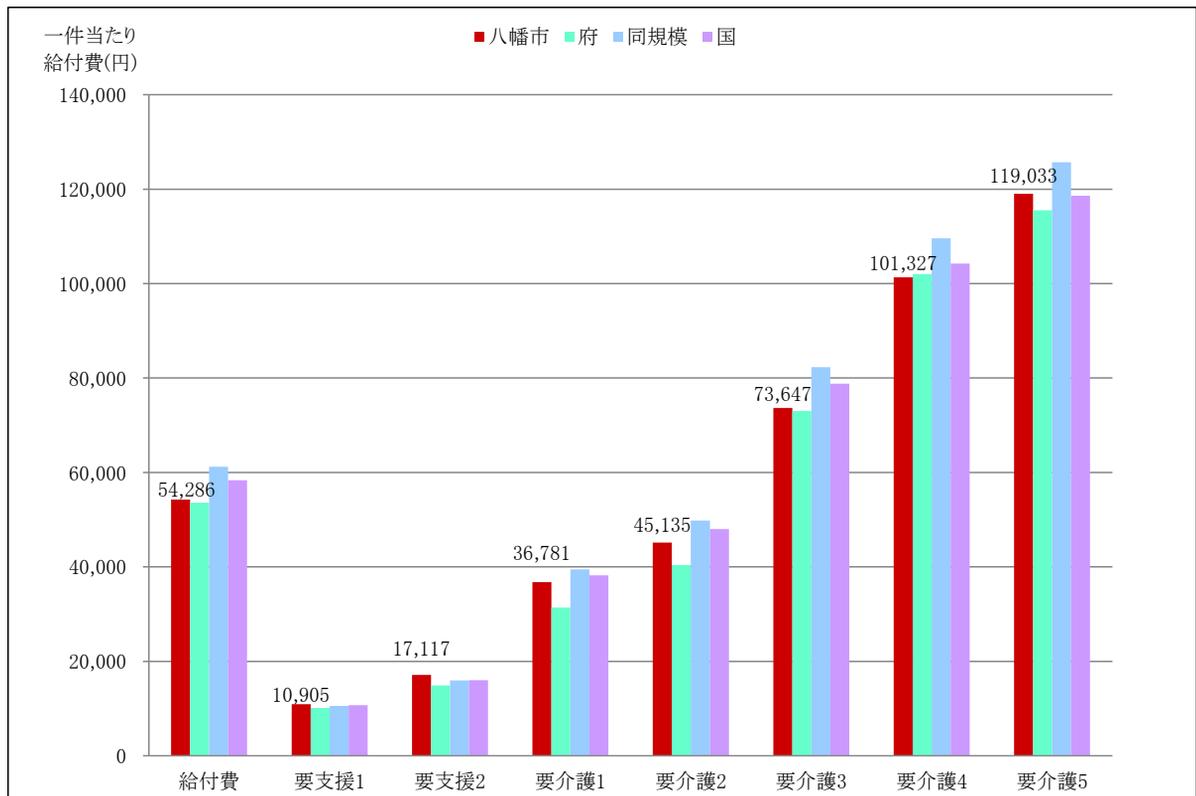
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示します。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	八幡市	府	同規模	国
認定率	22.5%	23.9%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	3,779	147,388	913,701	6,034,085
第1号(65歳以上)	3,662	144,172	891,715	5,882,340
第2号(40～64歳)	117	3,216	21,986	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	54,286	53,579	61,236	58,349
要支援1	10,905	10,115	10,581	10,730
要支援2	17,117	14,896	15,951	15,996
要介護1	36,781	31,363	39,501	38,200
要介護2	45,135	40,404	49,847	48,047
要介護3	73,647	73,038	82,302	78,791
要介護4	101,327	102,009	109,598	104,264
要介護5	119,033	115,541	125,708	118,599

出典: 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



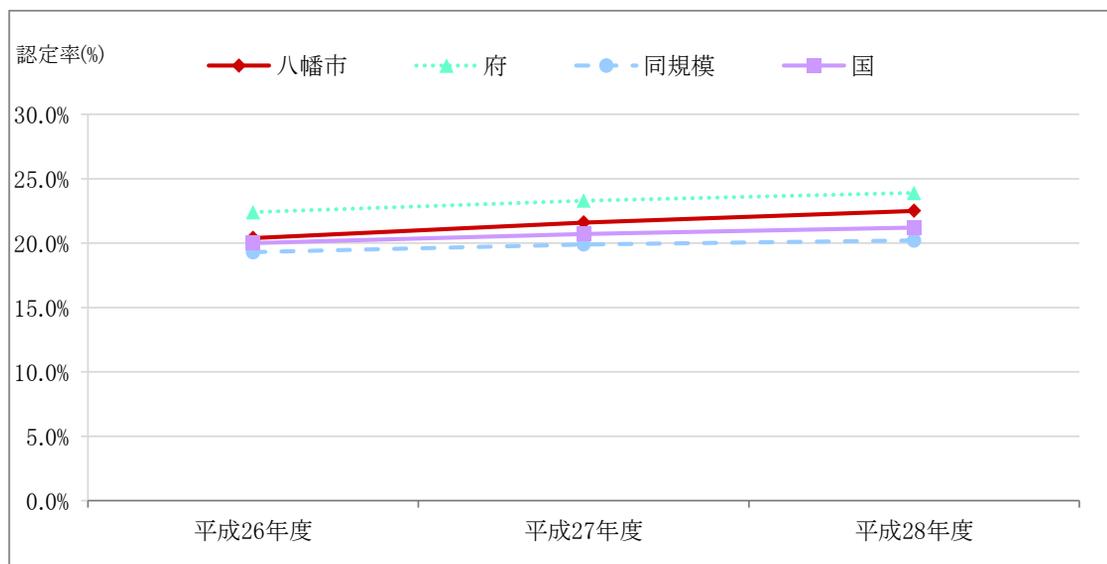
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示します。平成28年度認定率22.5%は平成26年度20.4%より2.1ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数3,779人は平成26年度3,451人より328人増加しています。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
八幡市	平成26年度	20.4%	3,451	3,327	124
	平成27年度	21.6%	3,595	3,473	122
	平成28年度	22.5%	3,779	3,662	117
府	平成26年度	22.4%	139,489	136,199	3,290
	平成27年度	23.3%	143,816	140,542	3,274
	平成28年度	23.9%	147,388	144,172	3,216
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,701	891,715	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示します。疾病別の有病者数を合計すると10,224人となり、認定者は平均2.7疾病を有していることがわかります。

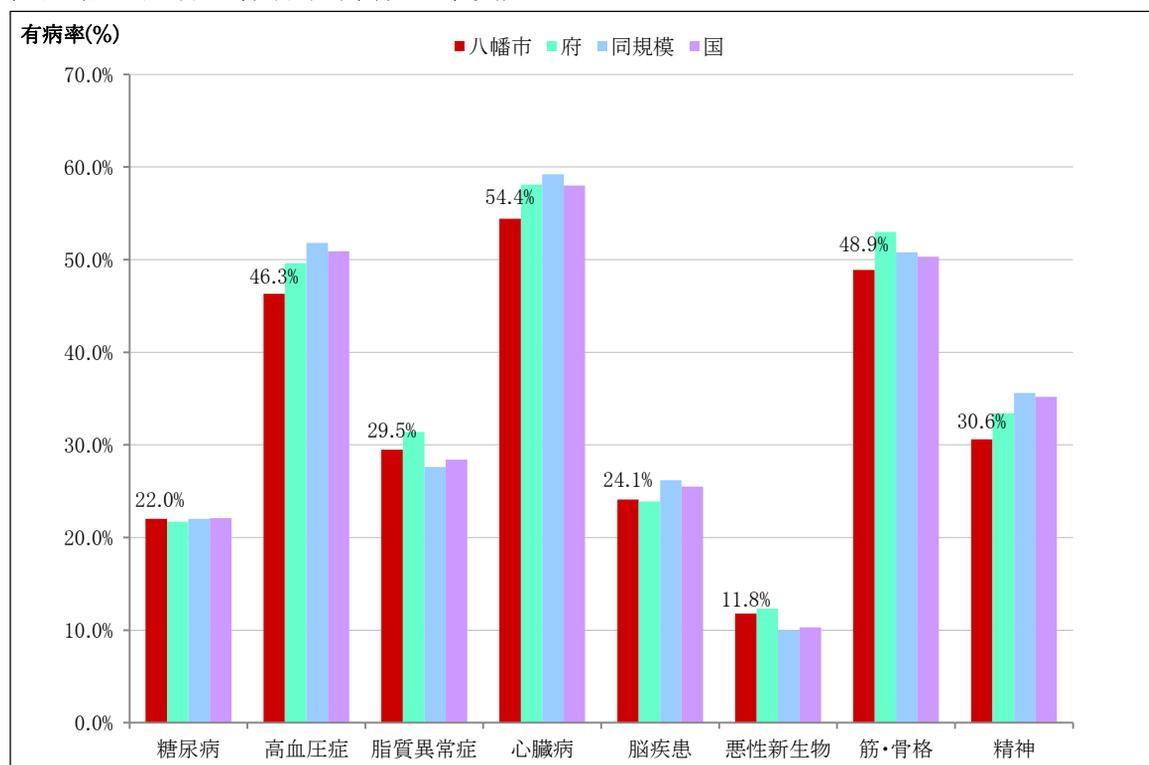
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		八幡市	順位	府	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		3,779		147,388		913,701		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	843	7	32,633	7	203,882	7	1,350,152	7
	有病率	22.0%		21.7%		22.0%		22.1%	
高血圧症	実人数(人)	1,779	3	74,270	3	479,210	2	3,101,200	2
	有病率	46.3%		49.6%		51.8%		50.9%	
脂質異常症	実人数(人)	1,111	5	47,044	5	256,268	5	1,741,866	5
	有病率	29.5%		31.4%		27.6%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	2,085	1	86,686	1	546,239	1	3,529,682	1
	有病率	54.4%		58.1%		59.2%		58.0%	
脳疾患	実人数(人)	908	6	35,454	6	239,587	6	1,538,683	6
	有病率	24.1%		23.9%		26.2%		25.5%	
悪性新生物	実人数(人)	450	8	18,541	8	93,015	8	631,950	8
	有病率	11.8%		12.3%		10.0%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	1,880	2	79,112	2	469,492	3	3,067,196	3
	有病率	48.9%		53.0%		50.8%		50.3%	
精神	実人数(人)	1,168	4	50,116	4	331,335	4	2,154,214	4
	有病率	30.6%		33.4%		35.6%		35.2%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示します。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.7疾病は平成26年度2.6疾病より増加しています。

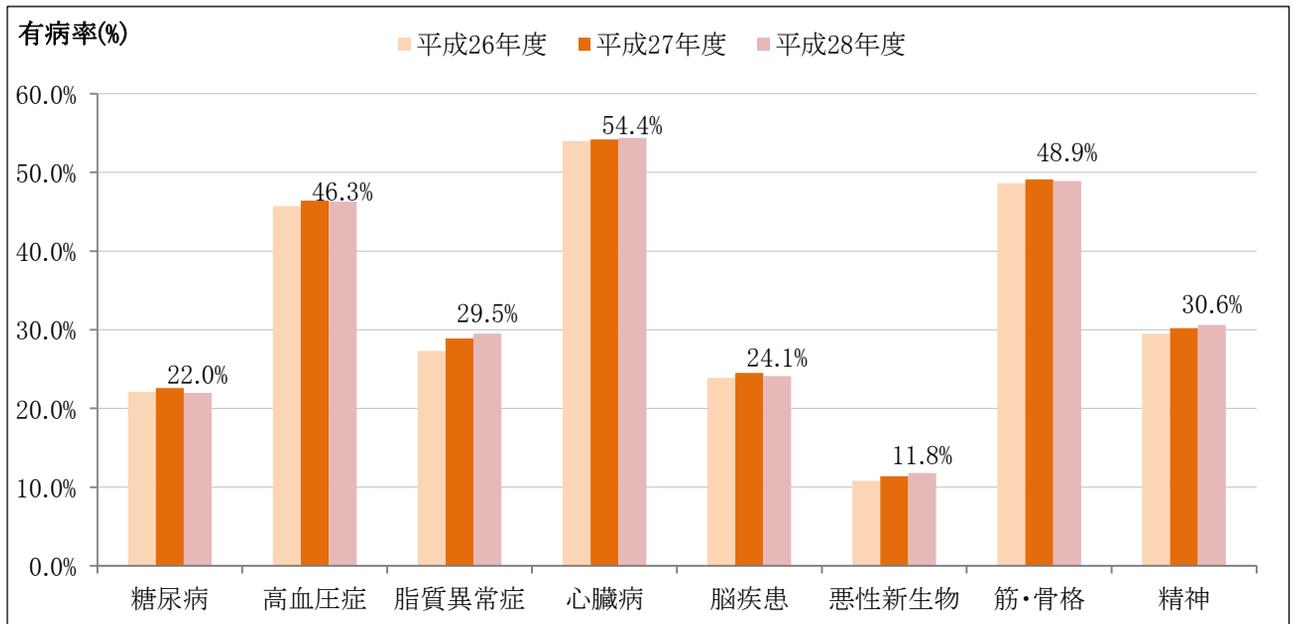
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	八幡市						府			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	3,451		3,595		3,779		139,489	143,816	147,388	883,689	908,391	913,701	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	772 22.1%	7	812 22.6%	7	843 22.0%	7	29,035 20.4%	31,266 21.2%	32,633 21.7%	193,357 21.3%	201,953 21.8%	203,882 22.0%	1,262,744 21.5%	1,311,205 21.9%	1,350,152 22.1%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	1,598 45.7%	3	1,677 46.4%	3	1,779 46.3%	3	68,204 48.1%	71,864 49.3%	74,270 49.6%	461,795 51.0%	476,888 51.8%	479,210 51.8%	2,935,799 50.2%	3,025,010 50.8%	3,101,200 50.9%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	952 27.3%	5	1,062 28.9%	5	1,111 29.5%	5	41,979 29.4%	45,202 30.7%	47,044 31.4%	240,907 26.3%	253,624 27.3%	256,268 27.6%	1,607,276 27.2%	1,683,014 28.0%	1,741,866 28.4%
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	1,860 54.0%	1	1,962 54.2%	1	2,085 54.4%	1	80,216 56.8%	84,175 57.9%	86,686 58.1%	528,400 58.5%	543,798 59.2%	546,239 59.2%	3,352,116 57.5%	3,444,300 57.9%	3,529,682 58.0%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	834 23.9%	6	887 24.5%	6	908 24.1%	6	34,075 24.3%	35,249 24.4%	35,454 23.9%	240,321 26.9%	243,139 26.6%	239,587 26.2%	1,516,426 26.2%	1,533,687 25.9%	1,538,683 25.5%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	396 10.8%	8	414 11.4%	8	450 11.8%	8	16,704 11.6%	17,761 12.1%	18,541 12.3%	87,123 9.5%	91,094 9.8%	93,015 10.0%	579,129 9.8%	606,159 10.1%	631,950 10.3%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	1,683 48.6%	2	1,782 49.1%	2	1,880 48.9%	2	72,560 51.4%	76,608 52.6%	79,112 53.0%	450,294 49.9%	465,666 50.6%	469,492 50.8%	2,881,117 49.3%	2,976,401 50.0%	3,067,196 50.3%
精神	実人数(人) 有病率(%)	1,038 29.5%	4	1,087 30.2%	4	1,168 30.6%	4	45,173 31.7%	48,014 32.8%	50,116 33.4%	310,168 34.1%	324,151 35.1%	331,335 35.6%	1,992,402 33.9%	2,075,125 34.7%	2,154,214 35.2%

出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



(5) 主たる死因の状況

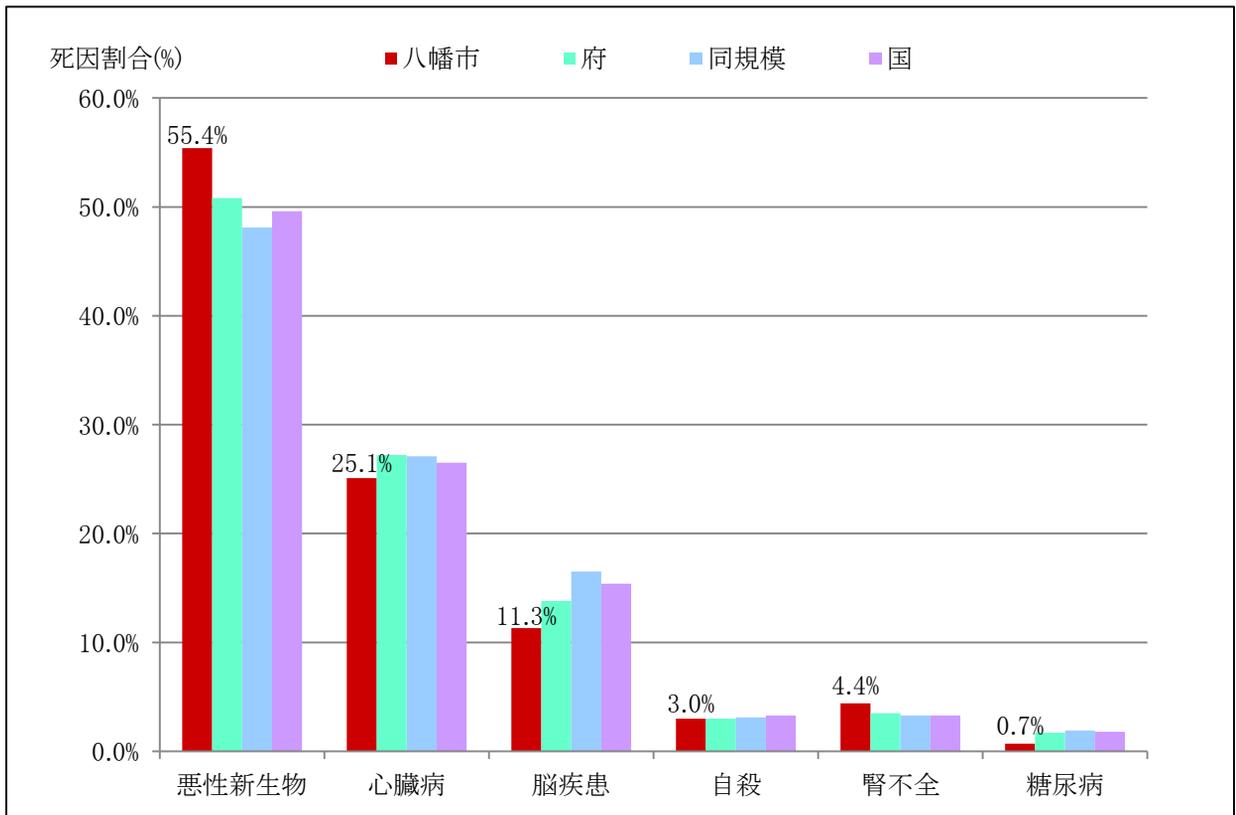
本市の平成28年度における主たる死因の状況を以下に示します。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	八幡市		府	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	225	55.4%	50.8%	48.1%	49.6%
心臓病	102	25.1%	27.2%	27.1%	26.5%
脳疾患	46	11.3%	13.8%	16.5%	15.4%
自殺	12	3.0%	3.0%	3.1%	3.3%
腎不全	18	4.4%	3.5%	3.3%	3.3%
糖尿病	3	0.7%	1.7%	1.9%	1.8%
合計	406				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



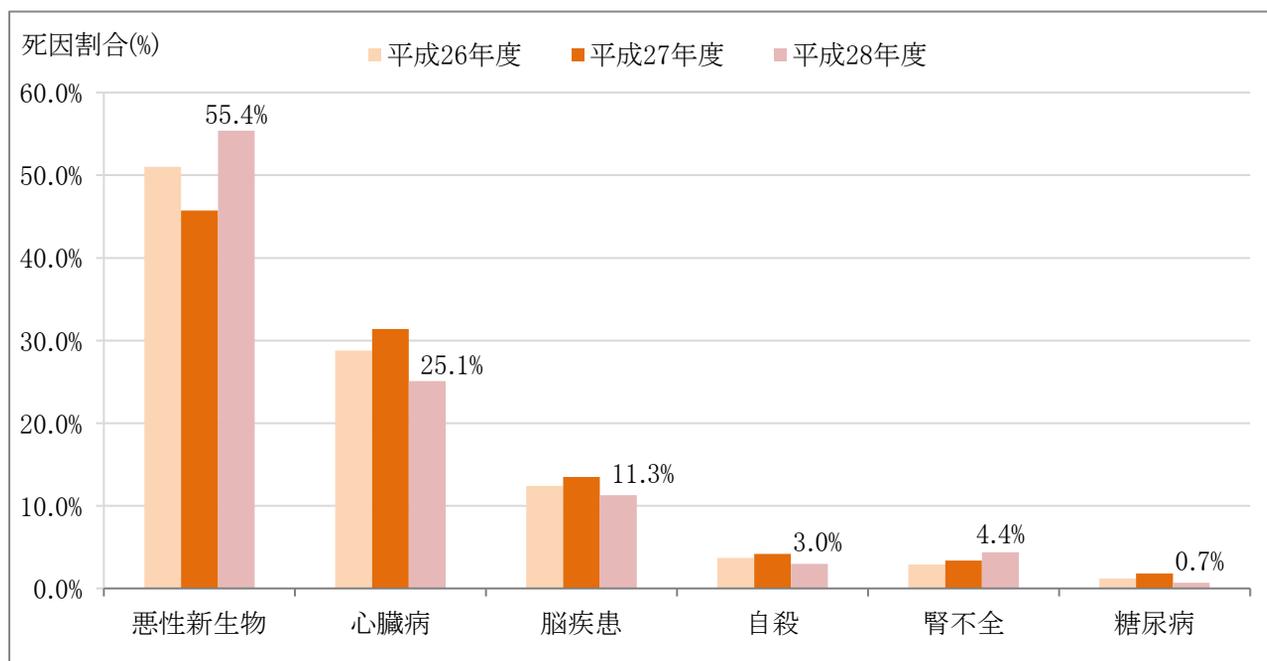
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示します。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数225人は平成26年度209人より16人増加しており、心臓病を死因とする人数102人は平成26年度118人より16人減少しています。また、脳疾患を死因とする人数46人は平成26年度51人より5人減少しています。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	八幡市						府			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	209	176	225	51.0%	45.7%	55.4%	49.2%	50.1%	50.8%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	118	121	102	28.8%	31.4%	25.1%	28.1%	27.1%	27.2%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	51	52	46	12.4%	13.5%	11.3%	14.2%	14.4%	13.8%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	15	16	12	3.7%	4.2%	3.0%	2.9%	3.3%	3.0%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	12	13	18	2.9%	3.4%	4.4%	3.7%	3.6%	3.5%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	5	7	3	1.2%	1.8%	0.7%	1.8%	1.6%	1.7%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	410	385	406												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示します。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価します。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成28年度から平成29年度	特定健康診査事業	生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導が必要となる人を抽出するとともに、疾病の早期発見と早期治療へつなげる。	40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施する。
平成28年度から平成29年度	特定健康診査未受診者対策事業	被保険者の健康維持の増進を支援するとともに健診受診率向上を図る。	受診率の低い年齢層の前年度健診未受診者に対して受診勧奨を実施する。
平成28年度から平成29年度	特定保健指導事業	特定健診結果から一定のリスクがある者に対し、生活習慣の改善を指導することで疾病及び、重症化予防を図る。	特定健診結果から階層化された動機付け支援・積極的支援対象者に保健指導を実施する。
平成28年度から平成29年度	糖尿病予防教室(血糖値が高めの方の教室)	生活習慣の改善を図り、糖尿病の重症化を防ぎ、糖尿病合併症の予防につなげる。	特定健診結果がHbA1cにおいて一定の基準を超えている者に対し集団教室を実施し、保健指導を行う。
平成28年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	医療費の自己負担を軽減するとともに、医療費の適正化を図る。	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値 (平成29年度末)	達成状況 (平成28年度時点)	評価
6月に受診券を発送後、7月～11月の期間に市が契約した個別医療機関で受診。その後、対象者の受診率を確認する。	特定健診受診率の向上(前年度比)	特定健診受診率 平成27年度：44.1% 平成28年度：43.8%	3
40歳～59歳の前年度特定健診未受診者に対して8月頃、受診勧奨ハガキを発送する。年代別、男女別にハガキに記載する受診勧奨文を変更している。その後、対象者の受診率を確認する。	40歳～59歳特定健診受診率の向上(前年度比)	40歳～59歳特定健診受診率 平成27年度：29.0% 平成28年度：27.4%	2
食事教室、運動教室、個別面接、手紙、電話で対象者に生活習慣の改善を指導する。	平成28年度受診率 50% 平成29年度受診率 60% 内臓脂肪症候群該当者の減少率の向上	指導実施率 平成27年度：8.5% 平成28年度：5.3% 内臓脂肪症候群該当者の減少率 平成27年度：24.3% 平成28年度：23.2%	2
病態概要、栄養指導、運動指導の教室を実施し、糖尿病についての理解を深め、生活習慣改善の方法を図り、適切な受診を勧奨する。	教室参加者の次年度特定健診のHbA1cの改善	平成27年度教室参加者のHbA1c平均値 平成27年度：8.16% 平成28年度：7.41% 平成28年度教室参加者のHbA1c平均値 平成28年度：7.75% 平成29年度：7.40%	5
年4回(8月、9月、10月、11月)差額通知を発送し、その後のレセプトから効果測定を行う。	普及率数量ベース 70%	普及率数量ベース 平成27年度：65.4% 平成28年度：69.4%	4

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りです。

①特定健康診査事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導が必要となる人を抽出するとともに、疾病の早期発見と早期治療へつなげる。

【事業概要】40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施する。

【実施内容】6月に受診券を発送後、7月～11月の期間に市が契約した個別医療機関で受診。その後、対象者の受診率を確認する。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度
特定健診受診率(%)	55.0%	60.0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健診受診率(%)	44.1%	43.8%	—

【考察】平成28年度の受診率は43.8%で平成27年度の受診率は44.1%であり、0.3ポイント減少しています。しかし、過去3年の経過をみると平成25年度は40.2%、平成26年度は41.4%と増加しており、今回の減少は悪い数値とは言えません。男女別では男性38.7%、女性48.1%と男性のほうが低くなっており、年代別でみると45～49歳代が23.4%と一番低く、40～44歳代も25.9%となっており、若年層の男性の受診率が低いことがわかります。今後、受診率をあげるためにはターゲットを絞った対策を検討する必要があります。

②特定健康診査未受診者対策事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】被保険者の健康維持の増進を支援するとともに健診受診率向上を図る。

【事業概要】受診率の低い年齢層の前年度健診未受診者に対して受診勧奨を実施する。

【実施内容】40歳～59歳の前年度特定健診未受診者に対して8月頃、受診勧奨ハガキを送る。年代別、男女別にハガキに記載する受診勧奨文を変更している。その後、対象者の受診率を確認する。

【目標値】未受診者対策の対象者(40～59歳)の特定健診受診率の向上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度
受診者数(人)	1,035人	903人
受診率(%)	29.0%	27.4%

【考察】平成28年度の受診率は27.4%、平成27年度は29.0%であり、1.6ポイント減少しています。過去3年の経過をみると、平成25年度は25.8%、平成26年度は27.8%と増加しており、全体の受診率と同様、増加ののちの微減と考えられます。平成25～28年度までは同様の内容で事業を行ってきましたが、減少したことによってハガキサイズを大きくするなど通知を見やすくする改善が必要です。

③特定保健指導事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】特定健診結果から一定のリスクがある者に対し、生活習慣の改善を指導することで疾病及び、重症化予防を図る。

【事業概要】特定健診結果から階層化された動機付け支援・積極的支援対象者に保健指導を実施する。

【実施内容】食事教室、運動教室、個別面談、手紙、電話で対象者に生活習慣の改善を指導する。

【目標値】

	平成28年度	平成29年度
指導実施率(%)	50.0%	60.0%
内臓脂肪症候群該当者減少率(%)	25.0%	25.0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指導実施率(%)	8.5%	5.3%	—
内臓脂肪症候群該当者減少率(%)	24.3%	23.2%	—

【考察】平成28年度の指導実施率は5.3%であり、平成27年度の8.5%から3.2ポイント減少しています。平成28年度の内臓脂肪症候群該当者減少率は23.2%であり、平成27年度の24.3%から1.1ポイント減少しています。

教室にはリピーターの参加が多く、内容がマンネリ化しているところがあります。平成30年度以降は、参加者を増加させ、内臓脂肪症候群該当者減少率を向上させるような新たな取り組みが必要であると考え、内臓脂肪測定会を実施し、指導実施率向上と参加者の生活習慣病予防への動機付けをねらいます。

④糖尿病予防教室(血糖値が高めの方の教室)

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣の改善を図り、糖尿病の重症化を防ぎ、糖尿病合併症の予防につなげる。

【事業概要】特定健診結果がHbA1cにおいて一定の基準を超えている者に集団教室を実施し、保健指導を行う。

【実施内容】病態概要、栄養指導、運動指導等の教室を実施し、糖尿病についての理解を深め、生活習慣改善の方法を図り、適切な受診を勧奨する。

【目標値】教室参加者の次年度特定健診のHbA1cの改善

【達成状況】

	教室参加年度のHbA1c平均値		教室参加翌年度のHbA1c平均値	
平成27年度教室参加者	平成27年度	8.16%	平成28年度	7.41%
平成28年度教室参加者	平成28年度	7.75%	平成29年度	7.40%

【考察】平成27年度教室参加者の平成28年度HbA1c平均値は7.41%で平成27年度のHbA1c平均値より0.75%の改善が見られました。また、平成28年度教室参加者の平成29年度HbA1c平均値は7.40%で平成28年度のHbA1c平均値より0.35%の改善が見られました。

教室参加により受診行動につながったり、生活習慣改善の動機付けになっている結果と考えます。

⑤ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成28年度から平成29年度

【事業目的】医療費の自己負担を軽減するとともに、医療費の適正化を図る。

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】年4回(8月、9月、10月、11月)差額通知を発送し、その後のレセプトから効果測定を行う。

【目標値】普及率数量ベース 70%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度
普及率(%)	65.4%	69.4%

【考察】平成28年度は69.4%、平成27年度は65.4%と年々上昇してきています。通知を送付した効果や、制度説明パンフレットにジェネリック医薬品希望カードを入れた効果がでてきています。国の設定する平成29年度の目標値70%には近いですが、平成32年度に80%という数値には遠いので、今後も継続的に通知発送や啓発をしていく必要があります。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、八幡市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。レセプト件数は平均20,953件、患者数は平均9,372人でした。また、患者一人当たりの医療費は平均53,060円でした。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	20,351	20,082	20,074	19,950	19,849	19,745	19,731	
B	レセプト件数(件)	入院外	13,435	13,164	13,394	13,250	12,562	12,928	13,417
		入院	341	334	325	333	339	338	388
		調剤	7,752	7,626	7,626	7,685	7,211	7,367	7,578
		合計	21,528	21,124	21,345	21,268	20,112	20,633	21,383
C	医療費(円) ※	516,425,040	477,400,750	502,507,890	491,748,270	471,416,890	497,868,930	519,392,390	
D	患者数(人) ※	9,675	9,421	9,660	9,435	9,093	9,248	9,525	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	25,376	23,773	25,033	24,649	23,750	25,215	26,324	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	23,989	22,600	23,542	23,122	23,440	24,130	24,290	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	53,377	50,674	52,019	52,120	51,844	53,835	54,529	
B/A	受診率(%)	105.8%	105.2%	106.3%	106.6%	101.3%	104.5%	108.4%	
D/A	有病率(%)	47.5%	46.9%	48.1%	47.3%	45.8%	46.8%	48.3%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	19,363	19,291	19,169	19,042	19,042	19,641		
B	レセプト件数(件)	入院外	13,270	13,329	12,478	12,448	13,359	13,086	157,034
		入院	378	328	334	332	358	344	4,128
		調剤	7,625	7,688	7,208	7,145	7,766	7,523	90,277
		合計	21,273	21,345	20,020	19,925	21,483	20,953	251,439
C	医療費(円) ※	504,078,750	511,301,540	496,294,180	466,522,130	512,400,510	497,279,773	5,967,357,270	
D	患者数(人) ※	9,454	9,501	9,013	9,056	9,384	9,372	112,465	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	26,033	26,505	25,890	24,500	26,909	25,319		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	23,696	23,954	24,790	23,414	23,851	23,733		
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	53,319	53,816	55,064	51,515	54,604	53,060		
B/A	受診率(%)	109.9%	110.6%	104.4%	104.6%	112.8%	106.7%		
D/A	有病率(%)	48.8%	49.3%	47.0%	47.6%	49.3%	47.7%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析します。平成28年度を平成26年度と比較すると、医療費59億6,736万円は平成26年度61億7,411万円より2億675万円減少しています。また、一カ月平均の患者数9,372人は、平成26年度9,659人より287人減少しています。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	20,884	20,354	19,641	
B	レセプト件数(件)	入院外	160,633	162,061	157,034
		入院	4,449	4,312	4,128
		調剤	98,039	94,751	90,277
		合計	263,121	261,124	251,439
C	医療費(円) ※	6,174,107,830	6,334,561,700	5,967,357,270	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	9,659	9,650	9,372	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	24,637	25,935	25,319	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	23,465	24,259	23,733	
D/A	有病率(%)	46.3%	47.4%	47.7%	

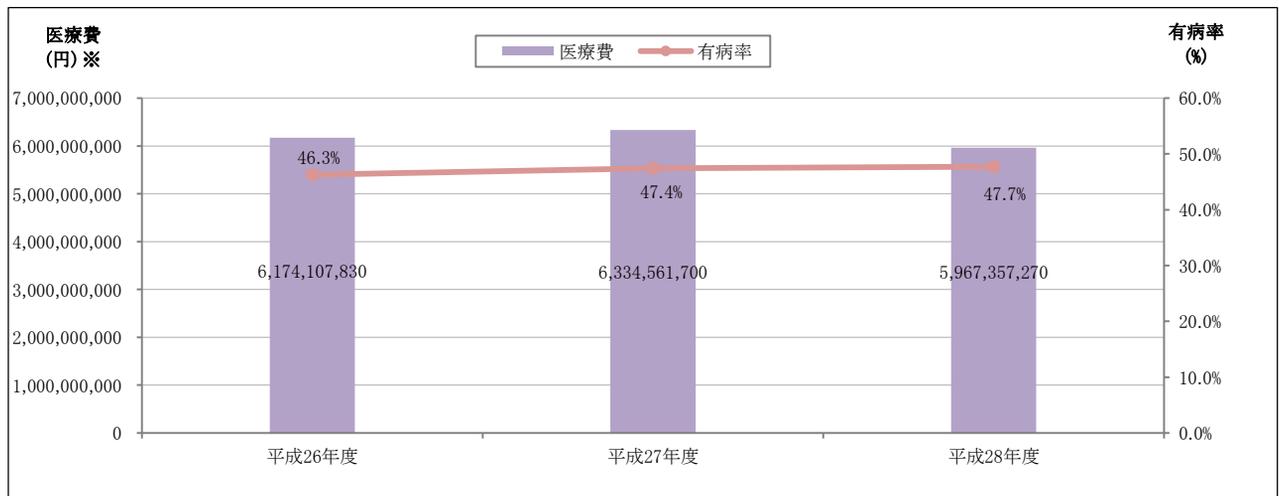
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍して表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは2,041件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占めます。高額レセプトの医療費は20億9,290万円となり、医療費全体の35.1%を占めます。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	21,528	21,124	21,345	21,268	20,112	20,633	21,383
B	高額レセプト件数(件)	172	165	164	166	172	177	159
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	0.7%
C	医療費(円) ※	516,425,040	477,400,750	502,507,890	491,748,270	471,416,890	497,868,930	519,392,390
D	高額レセプトの医療費(円) ※	182,680,040	160,795,280	177,478,680	165,458,910	160,997,660	183,577,620	182,392,650
E	その他レセプトの医療費(円) ※	333,745,000	316,605,470	325,029,210	326,289,360	310,419,230	314,291,310	336,999,740
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.4%	33.7%	35.3%	33.6%	34.2%	36.9%	35.1%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	21,273	21,345	20,020	19,925	21,483	20,953	251,439
B	高額レセプト件数(件)	165	179	175	161	186	170	2,041
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.9%	0.8%	0.9%	0.8%	
C	医療費(円) ※	504,078,750	511,301,540	496,294,180	466,522,130	512,400,510	497,279,773	5,967,357,270
D	高額レセプトの医療費(円) ※	171,670,330	188,104,700	184,306,890	158,809,390	176,627,540	174,408,308	2,092,899,690
E	その他レセプトの医療費(円) ※	332,408,420	323,196,840	311,987,290	307,712,740	335,772,970	322,871,465	3,874,457,580
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.1%	36.8%	37.1%	34.0%	34.5%	35.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示します。平成28年度高額レセプト件数2,041件は平成26年度2,037件より4件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費20億9,290万円は平成26年度20億4,270万円より5,020万円増加しています。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	263,121	261,124	251,439
B	高額レセプト件数(件)	2,037	2,092	2,041
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.8%
C	医療費(円) ※	6,174,107,830	6,334,561,700	5,967,357,270
D	高額レセプトの医療費(円) ※	2,042,700,220	2,253,160,880	2,092,899,690
E	その他レセプトの医療費(円) ※	4,131,407,610	4,081,400,820	3,874,457,580
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.1%	35.6%	35.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

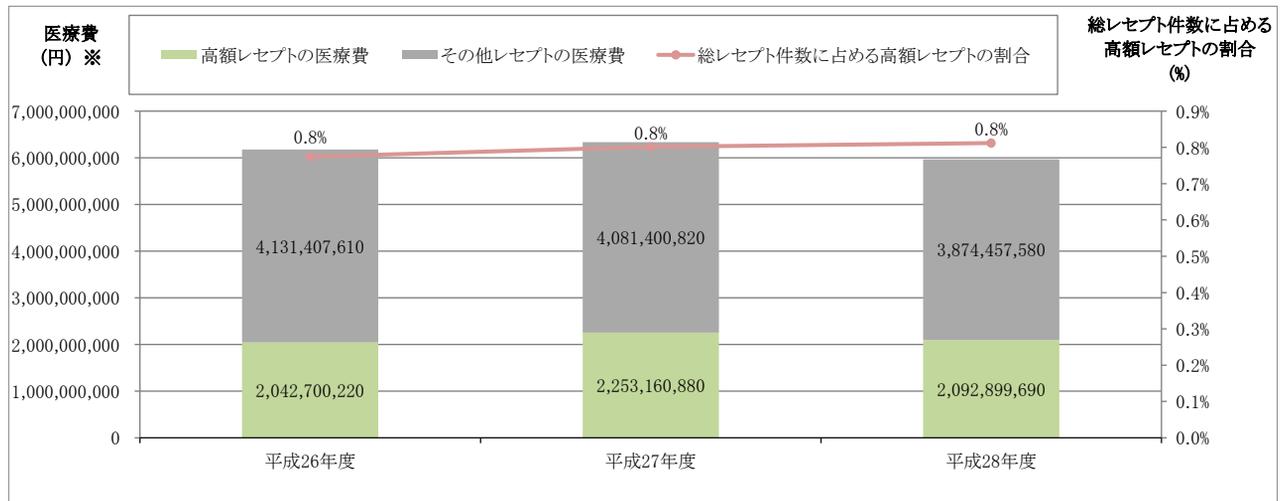
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示します。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計します。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の精神及び行動の障害」「腎不全」「白血病」等となりました。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0507	その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 言語障害, 発達障害	3	22,210,510	136,560	22,347,070	7,449,023
2	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	28	69,094,550	104,232,800	173,327,350	6,190,263
3	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病, 慢性骨髄性白血病慢性期	9	20,706,910	31,083,550	51,790,460	5,754,496
4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 片麻痺, 弛緩性片麻痺	7	38,979,400	196,090	39,175,490	5,596,499
5	0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	3	13,542,960	2,287,640	15,830,600	5,276,867
6	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫, 非ホジキンリンパ腫	17	51,933,430	22,390,040	74,323,470	4,371,969
7	0904	くも膜下出血	IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血, くも膜下出血	2	8,099,720	355,340	8,455,060	4,227,530
8	0905	脳内出血	小脳出血, 脳出血, 被殻出血	9	36,811,600	862,170	37,673,770	4,185,974
9	0606	その他の神経系の疾患	睡眠時無呼吸症候群, 低酸素性脳症, 水頭症	17	58,029,420	8,153,290	66,182,710	3,893,101
10	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, B型肝炎硬変, C型肝炎	18	5,658,110	64,068,970	69,727,080	3,873,727
11	0401	甲状腺障害	甲状腺中毒性ミオパチー	1	3,406,600	380,850	3,787,450	3,787,450
12	1004	肺炎	肺炎, 急性肺炎	9	31,754,800	1,486,030	33,240,830	3,693,426
13	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	尋常性乾癬, 褥瘡	6	4,398,030	17,624,150	22,022,180	3,670,363
14	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病, 躁状態, うつ状態	6	20,043,150	1,207,480	21,250,630	3,541,772
15	0903	その他の心疾患	心房細動, うつ血性心不全, 肺動脈性肺高血圧症	44	115,327,590	36,906,000	152,233,590	3,459,854
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	12	29,723,650	11,612,140	41,335,790	3,444,649
17	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	36	62,193,430	61,788,060	123,981,490	3,443,930
18	0107	真菌症	真菌血症, 肺真菌症	2	6,104,920	648,820	6,753,740	3,376,870
19	1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	1	3,073,260	257,610	3,330,870	3,330,870
20	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腭頭部癌, 多発性骨髄腫	81	159,995,790	105,939,000	265,934,790	3,283,146

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示します。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たりの医療費(円) ※
平成26年度	1	0107 真菌症	慢性壊死性肺炎アスペルギルス症	1	8,694,970
	2	0904 くも膜下出血	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	8,620,415
	3	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	1	6,940,050
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	27	5,999,247
	5	9999 分類外	不明	1	5,934,060
平成27年度	1	1110 その他の肝疾患	急性肝不全	1	13,071,830
	2	0904 くも膜下出血	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 脳動脈瘤破裂, くも膜下出血	3	7,304,463
	3	0209 白血病	慢性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病, 急性骨髄性白血病	8	6,594,486
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎不全	28	6,256,520
	5	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎硬変	26	5,236,485
平成28年度	1	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 言語障害, 発達障害	3	7,449,023
	2	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	28	6,190,263
	3	0209 白血病	慢性骨髄性白血病, 急性前骨髄球性白血病, 慢性骨髄性白血病慢性期	9	5,754,496
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 片麻痺, 弛緩性片麻痺	7	5,596,499
	5	0602 アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	3	5,276,867

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示します。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「骨折」となりました。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 頭頸部癌, 多発性骨髄腫	81	159,995,790	105,939,000	265,934,790	3,283,146
2	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞	51	122,498,250	18,973,990	141,472,240	2,773,965
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 骨折, 胸椎圧迫骨折	50	76,352,180	14,528,610	90,880,790	1,817,616
4	0903	その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 肺動脈性肺高血圧症	44	115,327,590	36,906,000	152,233,590	3,459,854
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	36	62,193,430	61,788,060	123,981,490	3,443,930
6	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	31	31,212,960	42,015,100	73,228,060	2,362,195
6	0906	脳梗塞	脳梗塞, ラクナ梗塞, アテローム血栓性脳梗塞	31	78,596,840	4,752,170	83,349,010	2,688,678
6	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, ループス腎炎, 大動脈炎症候群	31	76,946,750	14,935,450	91,882,200	2,963,942
9	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	聴神経鞘腫, 子宮筋腫, 胆管腫瘍	29	40,247,500	8,600,490	48,847,990	1,684,413
10	1113	その他の消化器系の疾患	閉塞性黄疸, 急性虫垂炎, 小腸クローン病	28	24,319,240	13,146,190	37,465,430	1,338,051
10	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	28	69,094,550	104,232,800	173,327,350	6,190,263
12	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 両側性形成不全性股関節症	26	70,141,110	9,017,100	79,158,210	3,044,547
13	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 原発開放隅角緑内障	24	19,538,980	9,018,420	28,557,400	1,189,892
14	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害, 妄想型統合失調症	20	52,133,100	8,283,430	60,416,530	3,020,827
14	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 胆のう結石症, 胆石性急性胆のう炎	20	19,194,260	4,890,110	24,084,370	1,204,219
14	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	頸髄損傷, 肩腱板断裂, 肩腱板損傷	20	55,687,090	5,536,410	61,223,500	3,061,175
17	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, B型肝炎硬変, C型肝炎	18	5,658,110	64,068,970	69,727,080	3,873,727
18	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, 下行結腸癌, S状結腸癌	17	31,130,300	23,216,480	54,346,780	3,196,869
18	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫, 非ホジキンリンパ腫	17	51,933,430	22,390,040	74,323,470	4,371,969
18	0402	糖尿病	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし, 増殖性糖尿病性網膜症, 糖尿病	17	13,908,930	8,014,320	21,923,250	1,289,603

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示します。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	患者一人当たり の医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 睪頭部癌	106	3,094,908
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 骨折	60	2,151,044
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 狭心症	52	2,200,640
	4	1113 その他の消化器系の疾患	クローン病, 巣径ヘルニア, 絞扼性イレウス	36	1,520,744
	5	0903 その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 非弁膜症性心房細動	35	3,654,008
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 甲状腺癌, 卵巣癌	119	2,885,776
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 圧迫骨折, 腰椎圧迫骨折	57	1,910,456
	3	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 急性心筋梗塞	51	2,302,778
	4	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 洞不全症候群, 心房細動	38	3,675,473
	5	0906 脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞・急性期	37	2,331,135
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 睪頭部癌, 多発性骨髄腫	81	3,283,146
	2	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞, 陳旧性心筋梗塞	51	2,773,965
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 骨折, 胸椎圧迫骨折	50	1,817,616
	4	0903 その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 肺動脈性肺高血圧症	44	3,459,854
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 上葉肺癌	36	3,443,930

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出します。「循環器系の疾患」が医療費合計の15.8%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の15.5%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	188,160,182	3.3%	12	20,491	12	5,516	8	34,112	15
II. 新生物<腫瘍>	891,916,475	15.5%	2	21,750	10	5,316	9	167,780	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	63,361,888	1.1%	15	5,599	17	1,362	16	46,521	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	545,976,550	9.5%	4	76,701	2	8,071	2	67,647	9
V. 精神及び行動の障害	296,598,124	5.1%	8	24,845	9	2,180	14	136,054	3
VI. 神経系の疾患	283,491,232	4.9%	9	38,068	6	3,792	12	74,760	8
VII. 眼及び付属器の疾患	260,577,459	4.5%	10	29,680	7	6,478	6	40,225	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	31,507,603	0.5%	17	6,654	16	1,903	15	16,557	19
IX. 循環器系の疾患	911,278,814	15.8%	1	77,426	1	7,589	4	120,079	4
X. 呼吸器系の疾患	393,577,663	6.8%	6	52,413	5	9,516	1	41,360	13
X I. 消化器系の疾患 ※	373,903,596	6.5%	7	59,334	3	8,020	3	46,621	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	126,008,542	2.2%	13	26,136	8	5,678	7	22,192	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	597,695,192	10.4%	3	56,174	4	7,005	5	85,324	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	428,980,084	7.4%	5	21,512	11	4,011	11	106,951	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	16,936,269	0.3%	18	506	20	192	20	88,210	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	11,180,245	0.2%	19	128	21	65	21	172,004	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,969,254	0.1%	20	977	18	342	18	11,606	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	99,340,088	1.7%	14	18,733	13	4,480	10	22,174	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	204,564,944	3.5%	11	11,291	14	3,487	13	58,665	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	33,071,308	0.6%	16	7,171	15	1,294	17	25,557	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,983,498	0.0%	21	824	19	199	19	9,967	21
合計	5,764,079,010			248,688		17,447		330,377	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

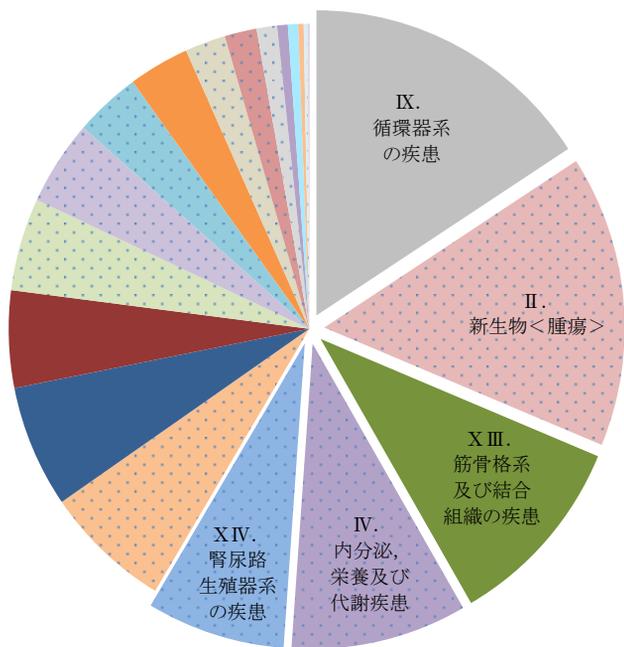
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」の医療費で過半数を占めています。

疾病項目別医療費割合



- IX. 循環器系の疾患
- II. 新生物<腫瘍>
- X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- X I. 消化器系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- VI. 神経系の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- I. 感染症及び寄生虫症
- X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
- X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- X V. 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI. 周産期に発生した病態
- X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- X X II. 特殊目的用コード
- 分類外

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計を算出し年度別に示します。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	134,296,212	2.3%	12	262,617,144	4.3%	11	188,160,182	3.3%	12
II. 新生物<腫瘍>	954,623,560	16.1%	1	950,954,577	15.7%	1	891,916,475	15.5%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	64,744,991	1.1%	15	72,781,832	1.2%	15	63,361,888	1.1%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	545,969,505	9.2%	4	573,495,552	9.4%	4	545,976,550	9.5%	4
V. 精神及び行動の障害	315,258,412	5.3%	8	285,565,867	4.7%	8	296,598,124	5.1%	8
VI. 神経系の疾患	270,666,884	4.6%	9	263,090,308	4.3%	10	283,491,232	4.9%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	258,943,847	4.4%	10	280,021,547	4.6%	9	260,577,459	4.5%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	37,695,919	0.6%	16	33,119,686	0.5%	16	31,507,603	0.5%	17
IX. 循環器系の疾患	953,129,252	16.1%	2	945,250,902	15.6%	2	911,278,814	15.8%	1
X. 呼吸器系の疾患	423,195,948	7.2%	5	417,695,247	6.9%	5	393,577,663	6.8%	6
X I. 消化器系の疾患 ※	415,000,602	7.0%	6	415,354,172	6.8%	7	373,903,596	6.5%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	119,622,298	2.0%	13	122,201,999	2.0%	13	126,008,542	2.2%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	625,264,961	10.6%	3	640,350,039	10.5%	3	597,695,192	10.4%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	397,571,399	6.7%	7	416,642,709	6.9%	6	428,980,084	7.4%	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	15,488,257	0.3%	18	14,744,900	0.2%	19	16,936,269	0.3%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,451,196	0.1%	20	7,475,271	0.1%	20	11,180,245	0.2%	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	13,390,237	0.2%	19	17,939,538	0.3%	18	3,969,254	0.1%	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,541,703	1.8%	14	113,994,824	1.9%	14	99,340,088	1.7%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	232,587,729	3.9%	11	208,621,661	3.4%	12	204,564,944	3.5%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	26,260,871	0.4%	17	29,521,253	0.5%	17	33,071,308	0.6%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	4,780,117	0.1%	21	4,098,012	0.1%	21	1,983,498	0.0%	21
合計	5,918,483,900			6,075,537,040			5,764,079,010		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

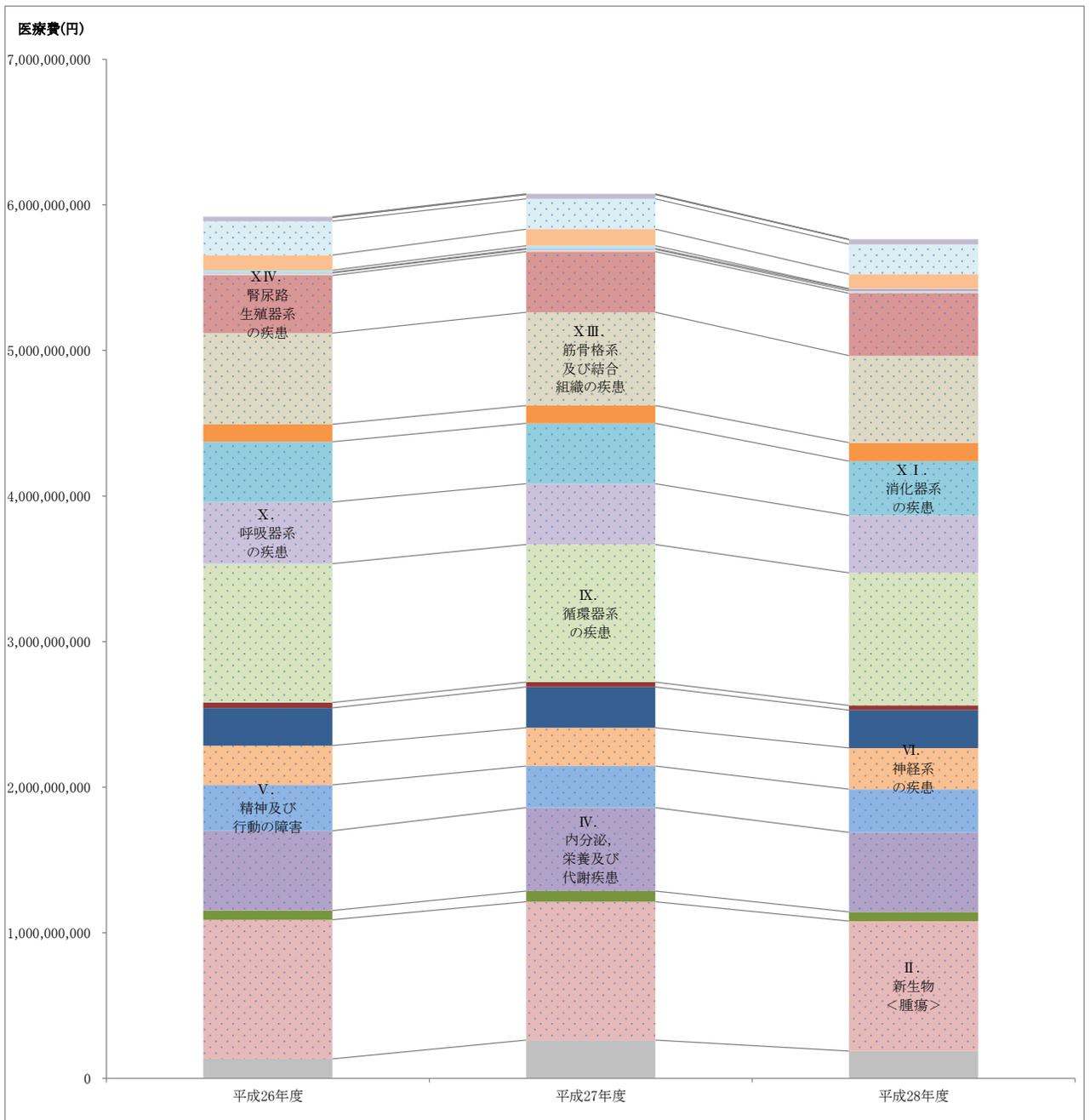
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示します。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	323,121,724	5.6%	2,508
2	0402	糖尿病	275,462,054	4.8%	4,818
3	1402	腎不全	270,881,433	4.7%	363
4	0901	高血圧性疾患	258,421,494	4.5%	5,473
5	0903	その他の心疾患	238,982,217	4.1%	2,890
6	1113	その他の消化器系の疾患	203,785,657	3.5%	5,260
7	0403	脂質異常症	183,377,883	3.2%	4,675
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	160,959,883	2.8%	4,886
9	0902	虚血性心疾患	155,437,623	2.7%	1,876
10	0606	その他の神経系の疾患	152,068,815	2.6%	3,381

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	258,421,494	5,473	31.4%
2	1113	その他の消化器系の疾患	203,785,657	5,260	30.1%
3	0703	屈折及び調節の障害	19,768,474	5,124	29.4%
4	1003	その他の急性上気道感染症	45,420,728	4,897	28.1%
5	0704	その他の眼及び付属器の疾患	160,959,883	4,886	28.0%
6	1006	アレルギー性鼻炎	69,400,339	4,825	27.7%
7	0402	糖尿病	275,462,054	4,818	27.6%
8	0403	脂質異常症	183,377,883	4,675	26.8%
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	99,340,088	4,480	25.7%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	53,753,496	4,065	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	48,289,905	43	1,123,021
2	1402	腎不全	270,881,433	363	746,230
3	0208	悪性リンパ腫	52,563,734	125	420,510
4	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	28,573,544	75	380,981
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	34,316,519	101	339,768
6	0904	くも膜下出血	14,570,863	44	331,156
7	0601	パーキンソン病	41,104,411	150	274,029
8	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,155,720	347	245,406
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	138,475,678	708	195,587
10	1602	その他の周産期に発生した病態	7,298,206	43	169,726

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示します。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	364,887,210	6.2%	2,518
	2	0901 高血圧性疾患	298,657,008	5.0%	5,530
	3	0402 糖尿病	271,953,727	4.6%	4,728
	4	1402 腎不全	261,137,926	4.4%	365
	5	1113 その他の消化器系の疾患	228,832,809	3.9%	5,202
	6	0903 その他の心疾患	202,793,889	3.4%	2,944
	7	0403 脂質異常症	191,109,983	3.2%	4,559
	8	0902 虚血性心疾患	154,712,704	2.6%	1,987
	9	0606 その他の神経系の疾患	152,446,757	2.6%	3,373
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	151,099,757	2.6%	4,846
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	370,379,943	6.1%	2,621
	2	0901 高血圧性疾患	295,304,375	4.9%	5,625
	3	0402 糖尿病	286,034,789	4.7%	4,922
	4	1402 腎不全	271,331,370	4.5%	389
	5	1113 その他の消化器系の疾患	230,324,619	3.8%	5,421
	6	0903 その他の心疾患	221,539,417	3.6%	2,899
	7	0403 脂質異常症	199,166,680	3.3%	4,719
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	166,097,918	2.7%	4,915
	9	0902 虚血性心疾患	158,794,409	2.6%	1,987
	10	0105 ウイルス性肝炎	149,314,448	2.5%	768
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	323,121,724	5.6%	2,508
	2	0402 糖尿病	275,462,054	4.8%	4,818
	3	1402 腎不全	270,881,433	4.7%	363
	4	0901 高血圧性疾患	258,421,494	4.5%	5,473
	5	0903 その他の心疾患	238,982,217	4.1%	2,890
	6	1113 その他の消化器系の疾患	203,785,657	3.5%	5,260
	7	0403 脂質異常症	183,377,883	3.2%	4,675
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	160,959,883	2.8%	4,886
	9	0902 虚血性心疾患	155,437,623	2.7%	1,876
	10	0606 その他の神経系の疾患	152,068,815	2.6%	3,381

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

患者数上位10疾病を年度別に示します。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	298,657,008	5,530	30.3%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	228,832,809	5,202	28.5%
	3	0703 屈折及び調節の障害	22,141,884	5,130	28.1%
	4	1003 その他の急性上気道感染症	52,112,751	5,118	28.1%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	79,142,713	4,947	27.1%
	6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	151,099,757	4,846	26.6%
	7	0402 糖尿病	271,953,727	4,728	25.9%
	8	0403 脂質異常症	191,109,983	4,559	25.0%
	9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	104,541,703	4,316	23.7%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	60,708,823	4,072	22.3%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	295,304,375	5,625	31.1%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	230,324,619	5,421	30.0%
	3	1003 その他の急性上気道感染症	51,031,218	5,323	29.4%
	4	0703 屈折及び調節の障害	22,054,269	5,264	29.1%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	76,020,043	5,002	27.6%
	6	0402 糖尿病	286,034,789	4,922	27.2%
	7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	166,097,918	4,915	27.2%
	8	0403 脂質異常症	199,166,680	4,719	26.1%
	9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	113,994,824	4,537	25.1%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	58,103,622	4,201	23.2%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	258,421,494	5,473	31.4%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	203,785,657	5,260	30.1%
	3	0703 屈折及び調節の障害	19,768,474	5,124	29.4%
	4	1003 その他の急性上気道感染症	45,420,728	4,897	28.1%
	5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	160,959,883	4,886	28.0%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	69,400,339	4,825	27.7%
	7	0402 糖尿病	275,462,054	4,818	27.6%
	8	0403 脂質異常症	183,377,883	4,675	26.8%
	9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	99,340,088	4,480	25.7%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	53,753,496	4,065	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示します。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	47,173,681	39	1,209,582
	2	1402 腎不全	261,137,926	365	715,446
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	39,698,846	93	426,869
	4	0904 くも膜下出血	18,163,410	47	386,456
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	102,894,185	322	319,547
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	24,531,361	78	314,505
	7	0601 パーキンソン病	32,496,817	132	246,188
	8	0208 悪性リンパ腫	28,165,926	120	234,716
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	150,933,213	705	214,090
	10	0905 脳内出血	48,510,219	281	172,634
平成27年度	1	0209 白血病	56,470,934	41	1,377,340
	2	1402 腎不全	271,331,370	389	697,510
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	34,458,035	86	400,675
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	31,049,754	85	365,291
	5	0904 くも膜下出血	13,079,863	52	251,536
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	94,726,026	379	249,937
	7	0208 悪性リンパ腫	29,517,665	133	221,937
	8	0105 ウイルス性肝炎	149,314,448	768	194,420
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	132,231,233	734	180,152
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	107,374,056	633	169,627
平成28年度	1	0209 白血病	48,289,905	43	1,123,021
	2	1402 腎不全	270,881,433	363	746,230
	3	0208 悪性リンパ腫	52,563,734	125	420,510
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	28,573,544	75	380,981
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	34,316,519	101	339,768
	6	0904 くも膜下出血	14,570,863	44	331,156
	7	0601 パーキンソン病	41,104,411	150	274,029
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,155,720	347	245,406
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	138,475,678	708	195,587
	10	1602 その他の周産期に発生した病態	7,298,206	43	169,726

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	5,764,079,010		248,688		17,447	

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	188,160,182	3.3%		20,491	8.2%		5,516	31.6%		34,112	
0101 腸管感染症	13,228,068	0.2%	77	4,398	1.8%	49	1,690	9.7%	33	7,827	105
0102 結核	6,054,111	0.1%	92	796	0.3%	93	322	1.8%	82	18,802	78
0103 主として性的伝播様式をとる 感染症	2,848,381	0.0%	101	876	0.4%	88	494	2.8%	75	5,766	114
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴う ウイルス性疾患	14,013,280	0.2%	75	3,226	1.3%	57	1,008	5.8%	47	13,902	92
0105 ウイルス性肝炎	87,985,569	1.5%	23	2,969	1.2%	60	758	4.3%	59	116,076	17
0106 その他のウイルス性疾患	9,590,046	0.2%	82	883	0.4%	87	397	2.3%	76	24,156	64
0107 真菌症	32,189,895	0.6%	53	5,905	2.4%	42	1,607	9.2%	34	20,031	74
0108 感染症及び寄生虫症の 続発・後遺症	228,876	0.0%	116	124	0.0%	112	39	0.2%	113	5,869	113
0109 その他の感染症及び寄生虫症	22,021,956	0.4%	66	4,113	1.7%	51	1,454	8.3%	36	15,146	88
II. 新生物<腫瘍>	891,916,475	15.5%		21,750	8.7%		5,316	30.5%		167,780	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	46,800,085	0.8%	37	2,743	1.1%	63	1,038	5.9%	44	45,087	39
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	68,823,343	1.2%	28	2,838	1.1%	61	1,054	6.0%	43	65,297	30
0203 直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物<腫瘍>	34,316,519	0.6%	50	628	0.3%	98	101	0.6%	103	339,768	5
0204 肝及び肝内胆管の 悪性新生物<腫瘍>	26,641,678	0.5%	59	1,225	0.5%	83	390	2.2%	78	68,312	27
0205 気管、気管支及び肺の 悪性新生物<腫瘍>	107,474,403	1.9%	12	2,040	0.8%	72	700	4.0%	63	153,535	11
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,155,720	1.5%	24	1,861	0.7%	76	347	2.0%	81	245,406	8
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	8,495,428	0.1%	83	662	0.3%	97	248	1.4%	89	34,256	54
0208 悪性リンパ腫	52,563,734	0.9%	34	702	0.3%	96	125	0.7%	100	420,510	3
0209 白血病	48,289,905	0.8%	36	315	0.1%	106	43	0.2%	110	1,123,021	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	323,121,724	5.6%	1	9,658	3.9%	29	2,508	14.4%	21	128,836	14
0211 良性新生物<腫瘍>及び その他の新生物<腫瘍>	90,233,936	1.6%	22	5,809	2.3%	44	2,320	13.3%	23	38,894	47
III. 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	63,361,888	1.1%		5,599	2.3%		1,362	7.8%		46,521	
0301 貧血	35,795,293	0.6%	47	3,691	1.5%	54	841	4.8%	57	42,563	41
0302 その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	27,566,595	0.5%	57	2,229	0.9%	68	658	3.8%	66	41,895	42
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	545,976,550	9.5%		76,701	30.8%		8,071	46.3%		67,647	
0401 甲状腺障害	33,628,541	0.6%	51	7,582	3.0%	36	1,692	9.7%	32	19,875	75
0402 糖尿病	275,462,054	4.8%	2	36,468	14.7%	4	4,818	27.6%	7	57,174	33
0403 脂質異常症	183,377,883	3.2%	7	49,189	19.8%	2	4,675	26.8%	8	39,225	46
0404 その他の内分泌、栄養及び 代謝疾患	53,508,072	0.9%	33	14,798	6.0%	14	2,369	13.6%	22	22,587	68
V. 精神及び行動の障害	296,598,124	5.1%		24,845	10.0%		2,180	12.5%		136,054	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	3,719,532	0.1%	98	156	0.1%	110	51	0.3%	108	72,932	26
0502 精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	5,336,288	0.1%	95	448	0.2%	103	81	0.5%	105	65,880	29
0503 統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	138,475,678	2.4%	11	10,707	4.3%	26	708	4.1%	62	195,587	9

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,764,079,010	248,688	17,447

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	97,065,814	1.7%	19	13,666	5.5%	21	982	5.6%	49	98,845	20
0505	神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	22,967,510	0.4%	65	9,275	3.7%	30	1,141	6.5%	42	20,129	73
0506	知的障害<精神遅滞>	2,393,236	0.0%	106	84	0.0%	113	20	0.1%	117	119,662	15
0507	その他の精神及び行動の障害	26,640,066	0.5%	60	2,233	0.9%	67	253	1.5%	88	105,297	19
VI. 神経系の疾患		283,491,232	4.9%		38,068	15.3%		3,792	21.7%		74,760	
0601	パーキンソン病	41,104,411	0.7%	43	1,958	0.8%	74	150	0.9%	98	274,029	7
0602	アルツハイマー病	25,139,235	0.4%	62	2,181	0.9%	70	189	1.1%	94	133,012	13
0603	てんかん	35,713,968	0.6%	48	6,068	2.4%	40	523	3.0%	73	68,287	28
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	28,573,544	0.5%	56	510	0.2%	100	75	0.4%	106	380,981	4
0605	自律神経系の障害	891,259	0.0%	114	823	0.3%	92	116	0.7%	101	7,683	107
0606	その他の神経系の疾患	152,068,815	2.6%	10	32,318	13.0%	5	3,381	19.4%	12	44,977	40
VII. 眼及び付属器の疾患		260,577,459	4.5%		29,680	11.9%		6,478	37.1%		40,225	
0701	結膜炎	26,217,468	0.5%	61	14,131	5.7%	18	3,369	19.3%	13	7,782	106
0702	白内障	53,631,634	0.9%	32	10,216	4.1%	28	2,241	12.8%	25	23,932	66
0703	屈折及び調節の障害	19,768,474	0.3%	68	20,178	8.1%	9	5,124	29.4%	3	3,858	119
0704	その他の眼及び付属器の疾患	160,959,883	2.8%	8	23,662	9.5%	6	4,886	28.0%	5	32,943	58
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		31,507,603	0.5%		6,654	2.7%		1,903	10.9%		16,557	
0801	外耳炎	2,747,874	0.0%	103	1,693	0.7%	78	612	3.5%	69	4,490	117
0802	その他の外耳疾患	2,243,104	0.0%	107	1,173	0.5%	84	530	3.0%	72	4,232	118
0803	中耳炎	10,754,410	0.2%	80	2,367	1.0%	65	647	3.7%	67	16,622	84
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	6,319,589	0.1%	90	1,047	0.4%	86	318	1.8%	83	19,873	76
0805	メニエール病	2,808,809	0.0%	102	831	0.3%	90	219	1.3%	90	12,826	96
0806	その他の内耳疾患	1,918,726	0.0%	109	376	0.2%	105	131	0.8%	99	14,647	90
0807	その他の耳疾患	4,715,091	0.1%	96	1,783	0.7%	77	678	3.9%	65	6,954	111
IX. 循環器系の疾患		911,278,814	15.8%		77,426	31.1%		7,589	43.5%		120,079	
0901	高血圧性疾患	258,421,494	4.5%	4	63,065	25.4%	1	5,473	31.4%	1	47,218	38
0902	虚血性心疾患	155,437,623	2.7%	9	14,778	5.9%	15	1,876	10.8%	31	82,856	23
0903	その他の心疾患	238,982,217	4.1%	5	18,618	7.5%	11	2,890	16.6%	17	82,693	24
0904	くも膜下出血	14,570,863	0.3%	74	219	0.1%	109	44	0.3%	109	331,156	6
0905	脳内出血	39,074,370	0.7%	45	794	0.3%	94	289	1.7%	86	135,205	12
0906	脳梗塞	102,547,038	1.8%	15	8,361	3.4%	34	1,166	6.7%	41	87,948	22
0907	脳動脈硬化(症)	83,907	0.0%	119	32	0.0%	119	12	0.1%	119	6,992	109
0908	その他の脳血管疾患	44,682,774	0.8%	40	3,154	1.3%	58	879	5.0%	53	50,834	36
0909	動脈硬化(症)	15,672,463	0.3%	73	4,418	1.8%	47	949	5.4%	50	16,515	85
0911	低血圧(症)	1,321,807	0.0%	112	508	0.2%	101	67	0.4%	107	19,728	77
0912	その他の循環器系の疾患	40,484,258	0.7%	44	4,411	1.8%	48	1,022	5.9%	45	39,613	45
X. 呼吸器系の疾患		393,577,663	6.8%		52,413	21.1%		9,516	54.5%		41,360	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	7,795,051	0.1%	86	3,879	1.6%	52	1,311	7.5%	37	5,946	112
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	18,212,950	0.3%	71	10,347	4.2%	27	3,334	19.1%	14	5,463	116
1003	その他の急性上気道感染症	45,420,728	0.8%	39	17,626	7.1%	13	4,897	28.1%	4	9,275	102

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,764,079,010	248,688	17,447

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	31,317,779	0.5%	55	2,148	0.9%	71	920	5.3%	52	34,041	56
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	18,567,578	0.3%	69	7,473	3.0%	37	2,631	15.1%	20	7,057	108
1006	アレルギー性鼻炎	69,400,339	1.2%	27	23,613	9.5%	7	4,825	27.7%	6	14,383	91
1007	慢性副鼻腔炎	11,564,522	0.2%	78	2,744	1.1%	62	638	3.7%	68	18,126	79
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	8,269,381	0.1%	84	3,134	1.3%	59	997	5.7%	48	8,294	104
1009	慢性閉塞性肺疾患	31,927,431	0.6%	54	4,471	1.8%	45	800	4.6%	58	39,909	44
1010	喘息	66,081,446	1.1%	29	11,699	4.7%	25	2,152	12.3%	26	30,707	60
1011	その他の呼吸器系の疾患	85,020,458	1.5%	25	8,569	3.4%	32	3,065	17.6%	16	27,739	61
X I . 消化器系の疾患		373,903,596	6.5%		59,334	23.9%		8,020	46.0%		46,621	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	44,052	0.0%	120	38	0.0%	118	12	0.1%	119	3,671	120
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	146,377	0.0%	117	47	0.0%	117	21	0.1%	116	6,970	110
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	45,701,743	0.8%	38	14,666	5.9%	16	2,262	13.0%	24	20,204	72
1105	胃炎及び十二指腸炎	50,856,219	0.9%	35	21,663	8.7%	8	3,869	22.2%	11	13,145	95
1106	痔核	6,466,262	0.1%	89	1,338	0.5%	80	383	2.2%	79	16,883	83
1107	アルコール性肝疾患	1,522,461	0.0%	111	419	0.2%	104	85	0.5%	104	17,911	81
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	3,466,514	0.1%	99	1,245	0.5%	82	197	1.1%	92	17,597	82
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	6,228,148	0.1%	91	1,078	0.4%	85	192	1.1%	93	32,438	59
1110	その他の肝疾患	11,043,613	0.2%	79	4,313	1.7%	50	1,240	7.1%	40	8,906	103
1111	胆石症及び胆のう炎	34,382,246	0.6%	49	1,892	0.8%	75	594	3.4%	70	57,883	31
1112	膵疾患	10,260,304	0.2%	81	1,423	0.6%	79	396	2.3%	77	25,910	62
1113	その他の消化器系の疾患	203,785,657	3.5%	6	36,968	14.9%	3	5,260	30.1%	2	38,743	48
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		126,008,542	2.2%		26,136	10.5%		5,678	32.5%		22,192	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	8,155,615	0.1%	85	2,278	0.9%	66	872	5.0%	54	9,353	101
1202	皮膚炎及び湿疹	53,753,496	0.9%	31	17,694	7.1%	12	4,065	23.3%	10	13,223	94
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	64,099,431	1.1%	30	13,095	5.3%	22	3,068	17.6%	15	20,893	71
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		597,695,192	10.4%		56,174	22.6%		7,005	40.2%		85,324	
1301	炎症性多発性関節障害	97,888,821	1.7%	18	8,502	3.4%	33	1,261	7.2%	39	77,628	25
1302	関節症	103,617,752	1.8%	14	14,340	5.8%	17	1,895	10.9%	30	54,680	34
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	96,622,380	1.7%	20	13,811	5.6%	19	1,919	11.0%	29	50,350	37
1304	椎間板障害	38,076,344	0.7%	46	6,244	2.5%	39	932	5.3%	51	40,854	43
1305	頸腕症候群	6,918,363	0.1%	88	4,462	1.8%	46	714	4.1%	61	9,690	100
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	26,787,279	0.5%	58	12,983	5.2%	23	1,982	11.4%	28	13,515	93
1307	その他の脊柱障害	23,016,539	0.4%	64	3,487	1.4%	56	685	3.9%	64	33,601	57
1308	肩の傷害<損傷>	14,010,569	0.2%	76	5,832	2.3%	43	868	5.0%	55	16,141	86
1309	骨の密度及び構造の障害	83,488,244	1.4%	26	12,965	5.2%	24	1,569	9.0%	35	53,211	35
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	107,268,901	1.9%	13	13,739	5.5%	20	2,787	16.0%	18	38,489	49

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,764,079,010	248,688	17,447

疾病項目	医療費総計 (円) ※			レセプト件数 ※			患者数 ※			患者一人 当たりの 医療費 (円)	
	構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		構成比 (%)	順位		順位	
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	428,980,084	7.4%		21,512	8.7%		4,011	23.0%		106,951	
1401 糸球体疾患及び 腎尿細管間質性疾患	21,445,768	0.4%	67	2,454	1.0%	64	564	3.2%	71	38,024	50
1402 腎不全	270,881,433	4.7%	3	3,706	1.5%	53	363	2.1%	80	746,230	2
1403 尿管結石症	18,549,143	0.3%	70	2,000	0.8%	73	507	2.9%	74	36,586	51
1404 その他の腎尿路系の疾患	44,269,189	0.8%	41	9,195	3.7%	31	2,024	11.6%	27	21,872	70
1405 前立腺肥大(症)	41,481,685	0.7%	42	5,942	2.4%	41	718	4.1%	60	57,774	32
1406 その他の男性生殖器系の疾患	2,451,989	0.0%	104	752	0.3%	95	157	0.9%	96	15,618	87
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	5,518,520	0.1%	93	1,275	0.5%	81	308	1.8%	84	17,917	80
1408 乳房及びその他の女性生殖器の 疾患	24,382,357	0.4%	63	2,227	0.9%	69	1,015	5.8%	46	24,022	65
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	16,936,269	0.3%		506	0.2%		192	1.1%		88,210	
1501 流産	1,193,587	0.0%	113	51	0.0%	116	35	0.2%	114	34,102	55
1502 妊娠高血圧症候群	22,159	0.0%	121	9	0.0%	121	7	0.0%	121	3,166	121
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	15,720,523	0.3%	72	462	0.2%	102	174	1.0%	95	90,348	21
XVI. 周産期に発生した病態	11,180,245	0.2%		128	0.1%		65	0.4%		172,004	
1601 妊娠及び胎児発育に 関連する障害	3,882,039	0.1%	97	71	0.0%	114	33	0.2%	115	117,638	16
1602 その他の周産期に発生した病態	7,298,206	0.1%	87	65	0.0%	115	43	0.2%	110	169,726	10
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,969,254	0.1%		977	0.4%		342	2.0%		11,606	
1701 心臓の先天奇形	629,842	0.0%	115	156	0.1%	110	43	0.2%	110	14,647	89
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	3,339,412	0.1%	100	838	0.3%	89	307	1.8%	85	10,878	97
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	99,340,088	1.7%		18,733	7.5%		4,480	25.7%		22,174	
1800 症状, 徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に分類 されないもの	99,340,088	1.7%	17	18,733	7.5%	10	4,480	25.7%	9	22,174	69
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	204,564,944	3.5%		11,291	4.5%		3,487	20.0%		58,665	
1901 骨折	100,140,271	1.7%	16	3,577	1.4%	55	867	5.0%	56	115,502	18
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	5,400,276	0.1%	94	309	0.1%	107	153	0.9%	97	35,296	52
1903 熱傷及び腐食	2,440,040	0.0%	105	222	0.1%	108	105	0.6%	102	23,238	67
1904 中毒	1,561,614	0.0%	110	565	0.2%	99	282	1.6%	87	5,538	115
1905 その他の損傷及びその他の外因 の影響	95,022,743	1.6%	21	7,755	3.1%	35	2,764	15.8%	19	34,379	53
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービスの利用	33,071,308	0.6%		7,171	2.9%		1,294	7.4%		25,557	
2101 検査及び診査のための保健 サービスの利用者	131,904	0.0%	118	27	0.0%	120	13	0.1%	118	10,146	98
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理 並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計 (円) ※	レセプト件数 ※	患者数 ※
	5,764,079,010	248,688	17,447

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	32,939,404	0.6%	52	7,144	2.9%	38	1,283	7.4%	38	25,674	63
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1,983,498	0.0%		824	0.3%		199	1.1%		9,967	
9999	分類外	1,983,498	0.0%	108	824	0.3%	91	199	1.1%	91	9,967	99

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

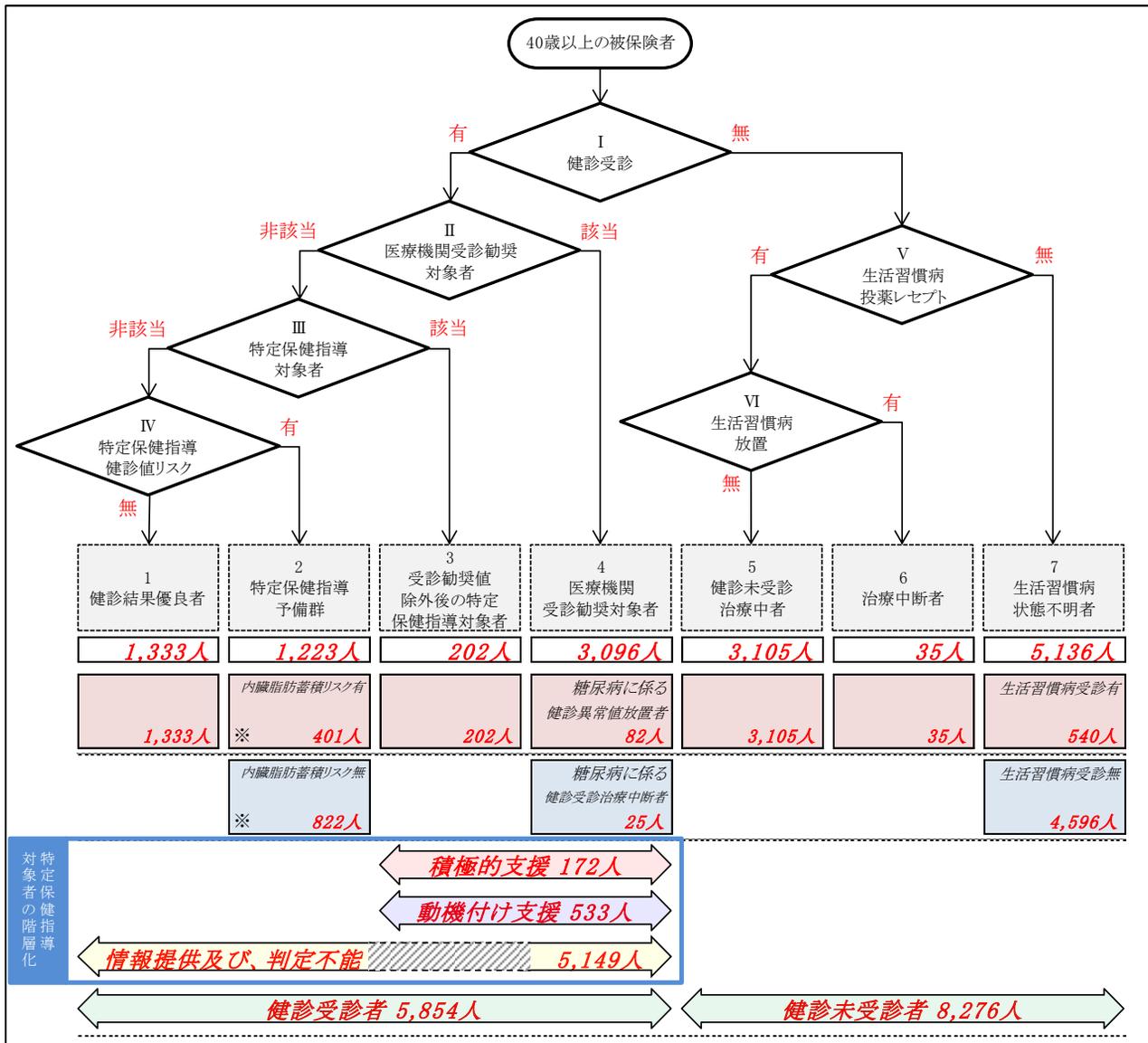
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行います。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示します。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されています。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けています。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は705人となります。このうち、積極的支援の対象者は172人、動機付け支援の対象者は533人です。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙	705人	
積極的支援	●●●●	9人	172人	24%		
	●●●	19人				
	●●	6人				
	●●●	10人				
	●●●●	23人				
	●●	22人				
	●●●	10人				
	●●●●	38人				
	●●●	7人				
	●●●●	12人				
	●●●●	16人				
	●	0人				
	●	0人				
	●	0人				
動機付け支援	●●●●	11人	533人	76%		
	●●●●	39人				
	●●●	5人				
	●●●	4人				
	●●●●	16人				
	●●●●	68人				
	●●●	21人				
	●●●●	47人				
	●●●●	9人				
	●●●●	15人				
	●●●●	14人				
	●●●●	50人				
	●●●●	167人				
	●●●●	67人				
●	0人					
●	0人					

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が特定保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

(3) 糖尿病の重症化に係る分析(健診異常値放置者)

特定健康診査で血糖検査(空腹時血糖値、HbA1c)が異常値であったにも関わらず、医療機関を受診していない者が存在します。異常値を放置すると糖尿病が重症化する可能性があります。これらの者を特定健康診査の結果より抽出します。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …HbA1c 6.5%以上または空腹時血糖値126mg/dl以上の医療機関未受診者を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	82 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるため「除外設定」により除外します。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	22 人
除外患者を除いた候補者数		60 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 糖尿病の重症化に係る分析(治療中断者)

糖尿病は一度発症すると治癒することは少ないため、病状の維持が重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬等が求められます。しかし、医療機関受診を自己判断により中断してしまう者が存在します。その結果糖尿病が重症化する可能性があるため、これらの者をレセプトデータから抽出します。

条件設定による指導対象者の特定(治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・治療中断者 …レセプトデータより糖尿病と診断された者のうち、定期受診を中断した患者

条件設定により対象となった候補者数	25 人
-------------------	------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、糖尿病の治療を意図的に中止している可能性も考えられるため「除外設定」により除外します。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(治療中断者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、難病等	1 人
除外患者を除いた候補者数		24 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 糖尿病の重症化に係る分析(ハイリスク者)

糖尿病は生活習慣病であり、食事療法・運動療法が基本であるが、糖尿病で医療機関受診者のうち、薬物療法は行っているが生活習慣がともなっておらず、血糖コントロールが不良の者が存在します。その結果、糖尿病が重症化する可能性があります。

条件設定による指導対象者の特定(ハイリスク者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・ハイリスク者 …HbA1c 7.0%以上または空腹時血糖値140mg/dl以上で特定健診結果とレセプトデータより糖尿病治療中の者を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	226 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるため「除外設定」により除外します。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	123 人
除外患者を除いた候補者数		103 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 受診行動適正化に係る分析

重複服薬は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。指導対象者数の分析結果は以下の通りです。

ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者(人) ※	79	89	69	81	101	96	99	100	87	79	71	98
12カ月間の延べ人数											1,049	
12カ月間の実人数											566	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複服薬者は566人存在します。機械的に重複服薬患者を特定した場合、それが「必要な医療」である患者も含まれる可能性があり、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析します。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。

条件設定による指導対象者の特定(重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者	
条件設定により候補者となった患者数	566人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。

必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(重複服薬者)

II.除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0人	441人
除外②	がん、難病等 ※	441人	
除外患者を除き、候補者となった患者数			125人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

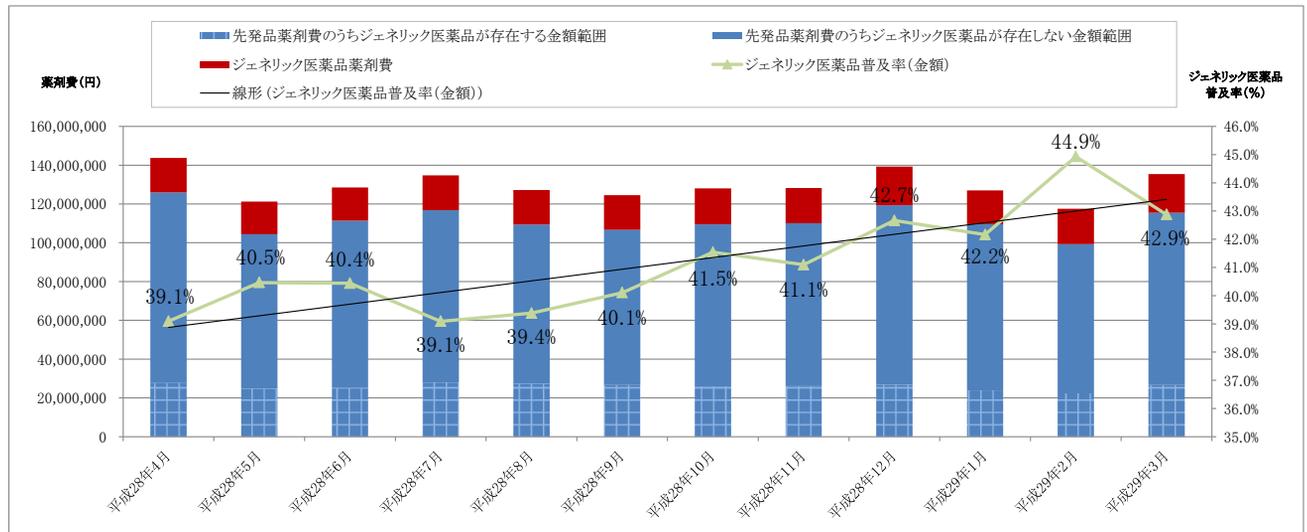
※疑い病名を含む。

(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

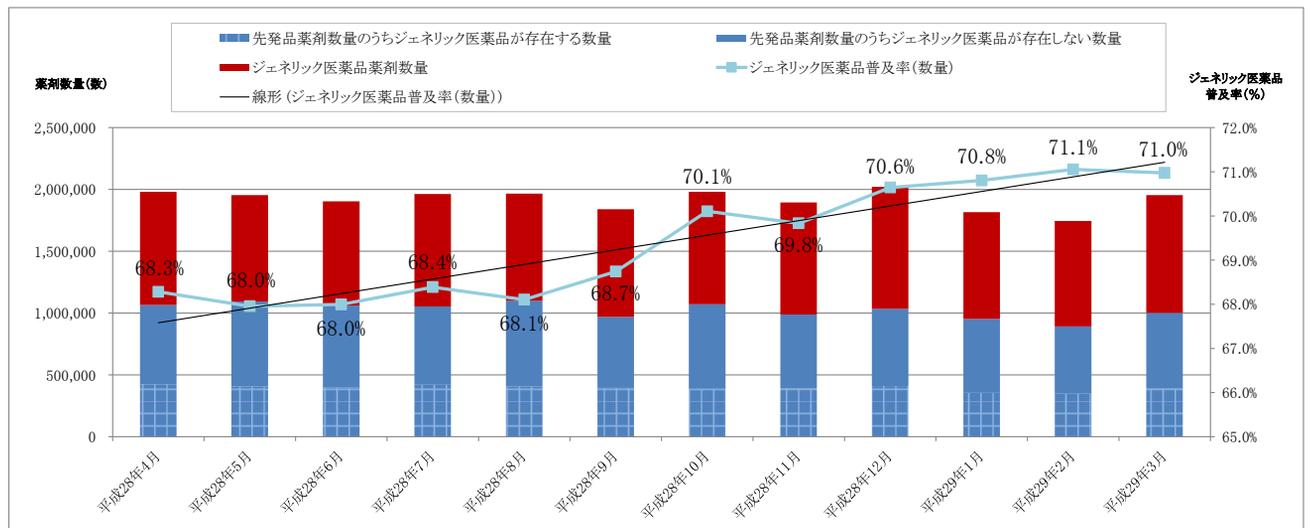
以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示します。現在、ジェネリック医薬品普及率は41.1%(金額ベース)、69.4%(数量ベース)です。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

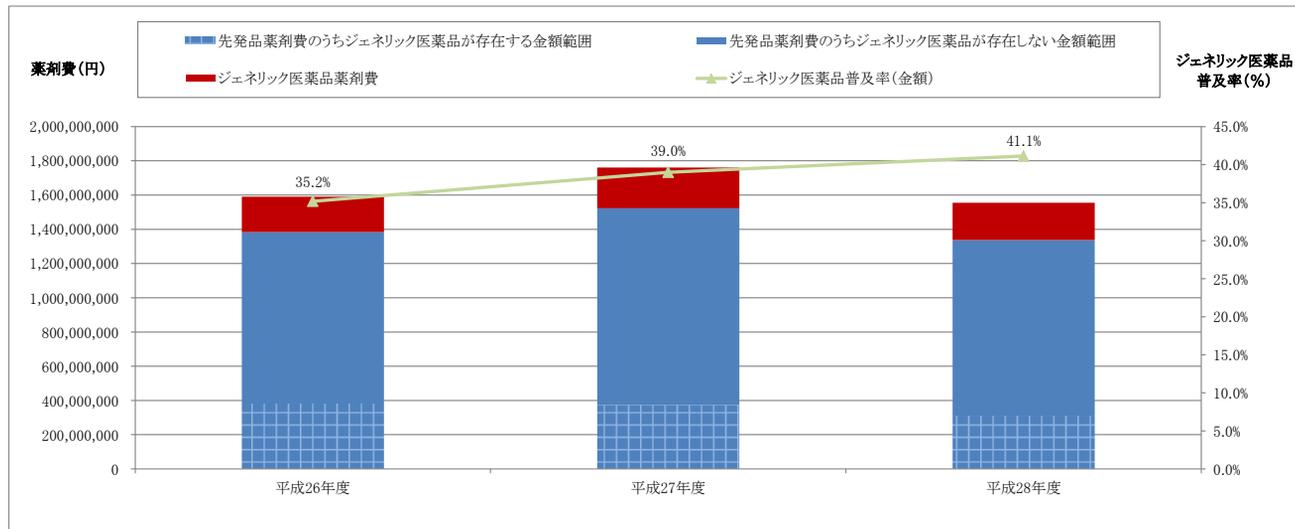
ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 ※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示します。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)41.1%は、平成26年度35.2%より5.9ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)69.4%は、平成26年度61.6%より7.8ポイント上昇しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

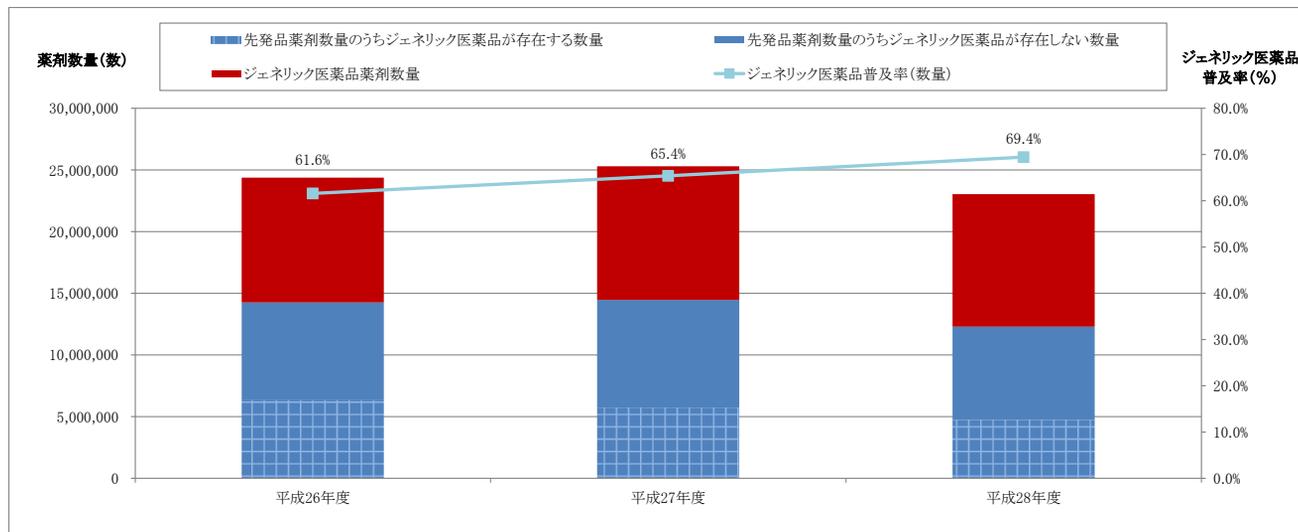


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



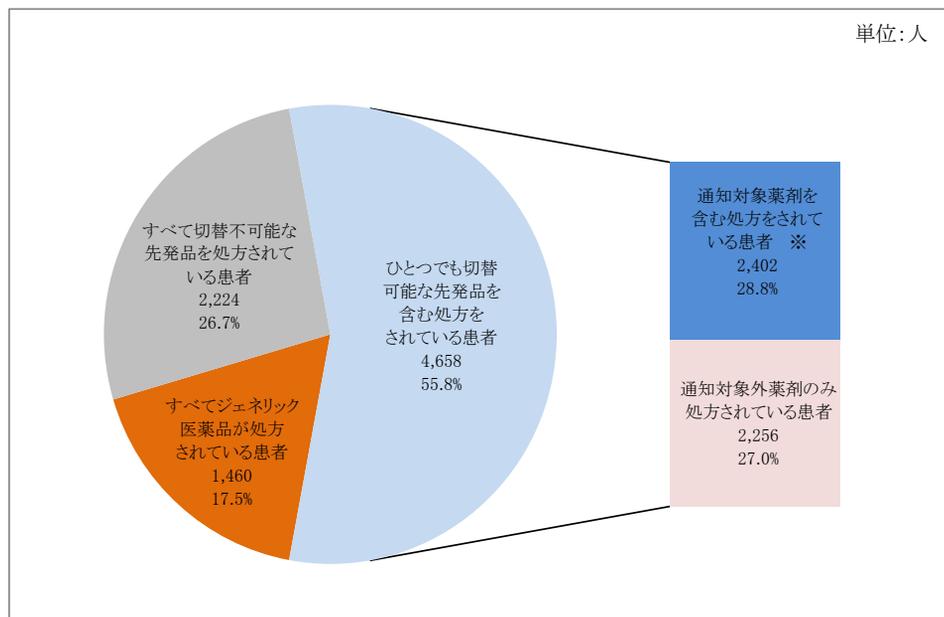
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示します。患者数は8,342人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方されている患者は4,658人で患者数全体の55.8%を占めています。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、2,402人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方されている患者となり、全体の28.8%となります。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示します。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	911,278,814円
2位	新生物<腫瘍>	891,916,475円
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	597,695,192円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	9,516人
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,071人
3位	消化器系の疾患	8,020人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	172,004円
2位	新生物<腫瘍>	167,780円
3位	精神及び行動の障害	136,054円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	323,121,724円
2位	糖尿病	275,462,054円
3位	腎不全	270,881,433円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	5,473人
2位	その他の消化器系の疾患	5,260人
3位	屈折及び調節の障害	5,124人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,123,021円
2位	腎不全	746,230円
3位	悪性リンパ腫	420,510円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	2,041件
高額レセプト件数割合	0.8%
高額レセプト医療費割合	35.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の精神及び行動の障害	7,449,023円
2位	腎不全	6,190,263円
3位	白血病	5,754,496円

【健診異常値放置者の状況】

糖尿病に係る 健診異常値放置者	82人
--------------------	-----

【治療中断者の状況】

糖尿病治療中断者	25人
----------	-----

【医療機関受診状況】

重複服薬者	566人
-------	------

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	69.4%
--------------	-------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示します。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	新生物<腫瘍>	954,623,560円
	2位	循環器系の疾患	953,129,252円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	625,264,961円
平成27年度	1位	新生物<腫瘍>	950,954,577円
	2位	循環器系の疾患	945,250,902円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	640,350,039円
平成28年度	1位	循環器系の疾患	911,278,814円
	2位	新生物<腫瘍>	891,916,475円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	597,695,192円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	364,887,210円
	2位	高血圧性疾患	298,657,008円
	3位	糖尿病	271,953,727円
平成27年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	370,379,943円
	2位	高血圧性疾患	295,304,375円
	3位	糖尿病	286,034,789円
平成28年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	323,121,724円
	2位	糖尿病	275,462,054円
	3位	腎不全	270,881,433円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	2,037件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	33.1%
平成 27 年度	高額レセプト件数	2,092件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	35.6%
平成 28 年度	高額レセプト件数	2,041件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	35.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	真菌症	8,694,970円
	2位	くも膜下出血	8,620,415円
	3位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,940,050円
平成 27 年度	1位	その他の肝疾患	13,071,830円
	2位	くも膜下出血	7,304,463円
	3位	白血病	6,594,486円
平成 28 年度	1位	その他の精神及び行動の障害	7,449,023円
	2位	腎不全	6,190,263円
	3位	白血病	5,754,496円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	61.6%	65.4%	69.4%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の健康診査受診率は府の32.5%より11.3ポイント高い43.8%である。 早期発見、早期治療のためにも、さらなる健診受診率の向上を目指す。 平成26年度の特定保健指導実施率は9.3%、平成27年度は8.5%、平成28年度は5.3%で実施率が低下している。 中分類の医療費上位の2位に糖尿病、患者数の1位に高血圧性疾患が入っていることから、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の実施 特定健康診査の受診勧奨 特定保健指導の実施
<p>◆糖尿病の医療機関未受診者・糖尿病治療中断者・糖尿病のハイリスク者</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病の健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者、糖尿病のハイリスク者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、また、保健指導を行い、糖尿病に関する知識を深め生活習慣を見直す機会を作り、糖尿病の重症化を予防する。 	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病重症化予防
<p>◆重複服薬者</p> <ul style="list-style-type: none"> 重複服薬者の条件設定による指導対象者から、がん、難病等の除外設定をした患者が125人存在する。 上記の患者から、より効率の良い対象者を特定し、適正な受診行動に導く指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量ベースで比較すると、平成26年度は61.6%、平成28年度は69.4%と普及率は上昇しているが、国が定める現在の目標80%以上と比較して低いいため、切り替え勧奨を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆がん検診受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費が高い疾病の平成26年度から平成28年度で1位が悪性新生物で、すべての年度で医療費が3億円を超えている。 平成28年度の主たる死因の原因の疾病項目の1位も悪性新生物が225人のためがん検診の推奨と適切な実施を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> がん検診

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示します。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査事業	生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導が必要となる人を抽出するとともに、疾病の早期発見と早期治療へつなげる。	40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施する。
特定健康診査未受診者対策事業	被保険者の健康維持の増進を支援するとともに健診受診率向上を図る。	受診率の低い年齢層の前年度健診未受診者に対して受診勧奨を実施する。
特定保健指導事業	特定健診結果から一定のリスクがある者に対し、生活習慣の改善を指導することで生活習慣病の有病者、予備群を減少させる。	特定健康診査の結果から内臓脂肪型肥満に着目し、生活習慣や検査値、体重、腹囲等が改善されるように、専門職による支援を教室、面接、文書、電話等で実施する。
糖尿病重症化予防事業	糖尿病のハイリスク者に対し生活習慣の改善を図り、行動変容を促し、合併症の重症化予防につなげる。	特定健康診査の結果からHbA1cにおいて一定基準を越えている者に対し、教室や訪問を実施し糖尿病について指導し、生活習慣改善の方法を伝え、医療機関未受診者には受診行動を促す。
重複服薬者適正化指導事業	重複服薬者数の減少	レセプトデータから、一月に3医療機関以上から同一効能の薬剤が処方されている対象者を特定し、適正な受診及び服薬を指導する。
ジェネリック医薬品差額通知事業	医療費の自己負担を軽減するとともに、医療費の適正化を図る。	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施内容	目標値	
平成30年度～平成35年度	アウトプット	アウトカム
6月に受診券を発送後、7月～11月の期間に市が契約した個別医療機関で受診。その後、対象者の受診率を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への受診券の発送 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度特定健診受診率より1%増 特定健診受診率 50% (本市が実現可能な目標値)
40歳から59歳の前年度特定健診未受診者に対して8月頃、受診勧奨ハガキを発送する。年代別、男女別にハガキに記載する受診勧奨文を変更している。その後、対象者の受診率を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への通知率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の特定健康診査受診率 30% 特定健康診査受診率 50%
食事教室、運動教室、個別面接手紙、電話で対象者に生活習慣の改善を指導する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への教室案内の発送 100% 教室 全11回実施 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の指導実施率 20%以上 (本市が実現可能な目標値) 指導完了者の生活習慣病改善率 80% 体重、腹囲改善率 60% 内臓脂肪症候群該当者の減少率 25%以上 医療費の削減
特定健診結果より対象者の選定をし、訪問・教室の実施を行う。アンケートで生活習慣、受診行動の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 教室参加率 15% 訪問実施率 60% 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の生活習慣病改善率 80% 医療機関未受診者の受診率 100% 糖尿病検査値「要医療」該当者 5%減少 医療費の削減
対象者に服薬情報通知を送付する。また、本人の希望があれば保健師からの指導も行う。	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への服薬情報の発送 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 通知対象者の重複服薬の減 医療費の削減
年4回(8月、9月、10月、11月)差額通知を発送し、その後のレセプトから効果測定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 年4回差額通知を発送 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)の前年度増 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りです。

(1) 特定健康診査事業

【事業目的】

生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定保健指導が必要となる人を抽出するとともに、疾病の早期発見と早期治療へつなげる。

【事業概要】

40歳～74歳の被保険者を対象に健診を実施する。

【実施内容】

6月に受診券を発送後、7月～11月の期間に市が契約した個別医療機関で受診。その後、対象者の受診率を確認する。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。ただし、目標値について、国の目標値は特定健診受診率60%となっているが、本市では実現可能な数値を目標値として設定することとする。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
・対象者への受診券の発送 100%	短期	・前年度特定検診受診率より1%増 法定報告の数字により受診率を確認する。
	中長期	・特定健診受診率 50% (本市が実現可能な目標値) 法定報告の数字により受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													↔
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													↔
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													↔
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													↔
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													↔
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		↔										
		指導実施				↔								
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													↔



(2) 特定健康診査未受診者対策事業

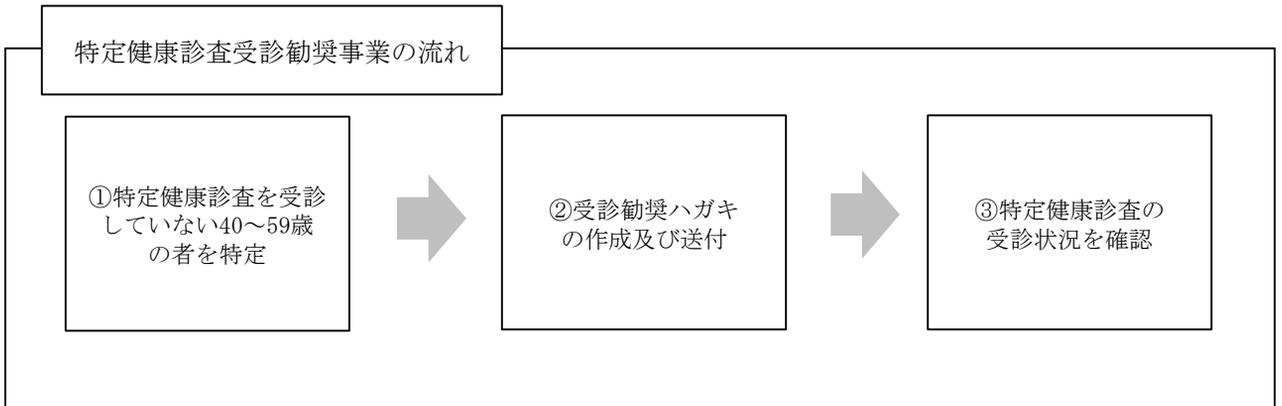
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

前年度、特定健康診査を受診していない40～59歳を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



通知書デザイン

特定健診のご案内

対象
40歳～74歳で八幡市国保に加入している方

実施期間 平成29年10月31日(火)まで

費用 無料

申込方法等
対象者には、6月末に受診券・受診票・パンフレットを送付しています。詳しくは、パンフレットをご確認ください。
(受診券・受診票を紛失した場合は、健康推進課に連絡してください。再交付いたします。)

持ち物

受診券

受診票

保険証

- ・受診券
- ・受診票
- ・保険証

特定健診の流れ

- ① 健診を受ける**

健診を受けられる実施医療機関は、6月末に送付したパンフレットをご覧ください。予約が必要な医療機関がありますので、事前に確認をお願いします。
- ② 結果を知る**

受診した医療機関より結果をお聞きください。
- ③ 生活習慣を振り返る**

特定保健指導の案内が届いた方は、ぜひお越しください。

料金別納
郵便

無料だよ!

八幡市国民健康保険にご加入の皆さまへ

特定健診

今年度の特定健診の実施は
平成29年10月31日(火)までです。

既に受診・お申し込みがお済みの場合や、国保資格を喪失している場合は、行き違いですのでご注意ください。

八幡市役所国保医療課・健康推進課
八幡市八幡町内 75 TEL.075-983-1111

このハガキが当たっている場合は、十分に乾かしてからお開きください。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
・対象者への通知率 100%	短期	・対象者の特定健康診査受診率 30%
	中長期	・特定健康診査受診率 50%
		事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
		法定報告の数字より受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←	→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定	←	→										
		効果確認	←	→										
	A(改善)	改善計画		←	→									
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←	→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定	←	→										
		効果確認	←	→										
	A(改善)	改善計画		←	→									
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←	→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定	←	→										
		効果確認	←	→										
	A(改善)	改善計画		←	→									
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←	→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定	←	→										
		効果確認	←	→										
	A(改善)	改善計画		←	→									
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←	→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備				←	→							
		指導実施					←	→						
	C(効果測定)	効果測定	←	→										
		効果確認	←	→										
	A(改善)	改善計画		←	→									
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←	→



(3) 特定保健指導事業

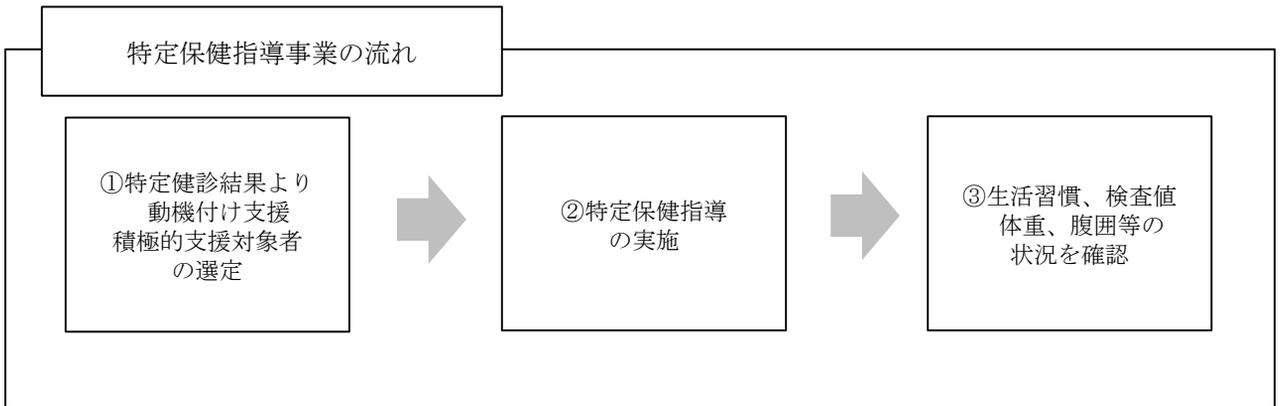
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から内臓脂肪型肥満に着目し、特定保健指導対象者を選定し、生活習慣や検査値、体重、腹囲等が改善されるように、専門職による支援を教室、面接、文書、電話等で実施する。（詳細な内容は、毎年度検討し決定する）

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標	評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> 対象者への教室案内の発送 100% 教室 全10回実施 	短期	<ul style="list-style-type: none"> 指導完了者の生活習慣改善率 80% 体重、腹囲の改善率 60% 	指導前後のアンケートで生活習慣の状況や体重、腹囲状況を比較して確認する。
	中長期	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の指導実施率 20%以上 (本市が実現可能な目標値) 内臓脂肪症候群該当者の減少率 25%以上 医療費の削減 	法定報告の指導実施率、内臓脂肪症候群該当者割合推移を確認する。医療費の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成30年度)														
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成31年度)									↔					
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成32年度)									↔					
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成33年度)									↔					
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成34年度)									↔					
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備				←									
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													←
		効果確認													←
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成35年度)									↔					



(4) 糖尿病重症化予防事業

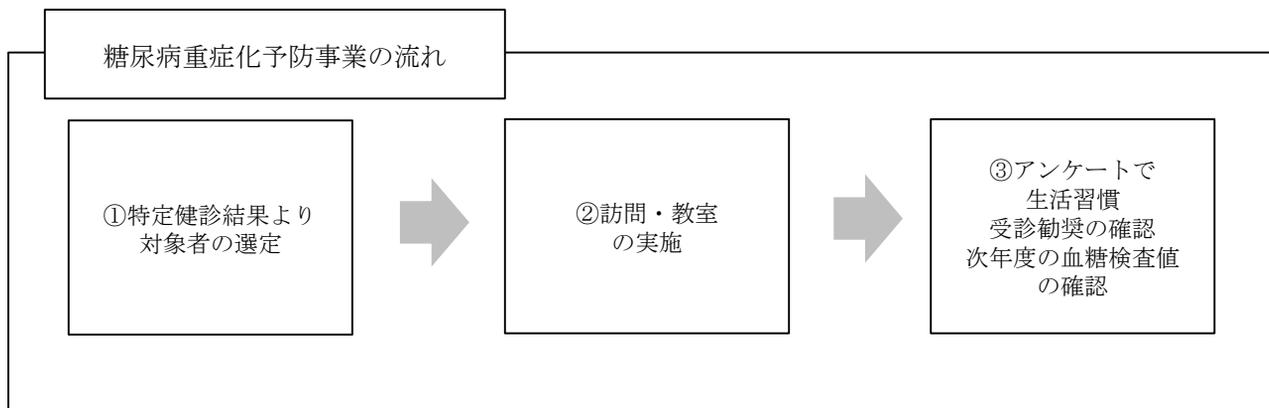
【事業目的】

糖尿病のハイリスク者に対し生活習慣の改善を図り、行動変容を促し、合併症の重症化予防につなげる。

【実施概要】

特定健康診査の結果からHbA1cにおいて一定基準を越えている者に対し、教室や訪問を実施し、糖尿病について指導し、生活習慣改善の方法を伝え、医療機関未受診者には受診行動を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・教室参加率 15% ・訪問実施率 60% 	短期	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の生活習慣病改善率 80% ・医療機関未受診者の受診率 100% 教室後アンケートで生活習慣の状況、受診行動を確認する。レセプトで受診状況確認。
	中長期	<ul style="list-style-type: none"> ・血糖検査値「要医療」該当者 5%減少 ・医療費の削減 特定健診の結果より血糖検査から「要医療」と判定される者の割合を確認する。医療費の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定											←→		
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成30年度)														
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定	←→										←→		
		効果確認	←→										←→		
	A(改善)	改善計画		←→											
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)							←→							
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定	←→										←→		
		効果確認	←→										←→		
	A(改善)	改善計画		←→											
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)							←→							
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定	←→										←→		
		効果確認	←→										←→		
	A(改善)	改善計画		←→											
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)							←→							
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定	←→										←→		
		効果確認	←→										←→		
	A(改善)	改善計画		←→											
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)							←→							
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備								←→					
		指導実施											←→		
	C(効果測定)	効果測定	←→										←→		
		効果確認	←→										←→		
	A(改善)	改善計画		←→											
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)							←→							



(5) 重複服薬者適正化指導事業

【事業目的】

重複服薬者の減少、医療費の削減

【実施概要】

レセプトデータから、重複して複数の薬剤を処方されている対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について指導を行う。

【実施内容】

一月に3医療機関以上から同一効能の薬剤が処方されている対象者をレセプトデータから特定し、服薬情報通知を発送する。また、本人より希望があれば保健師からの指導も行う。

【目標値及び評価方法】

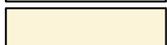
アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
・対象者への服薬情報の発送 100%	短期	・通知対象者の重複服薬の減 通知発送後の対象者の薬剤レセプトを確認する。
	中長期	・医療費の削減 医療費の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													↔
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													↔
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													↔
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													↔
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													↔
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備				↔								
		指導実施					↔							
	C(効果測定)	効果測定								↔	↔			
		効果確認								↔	↔			
	A(改善)	改善計画												↔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													↔

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

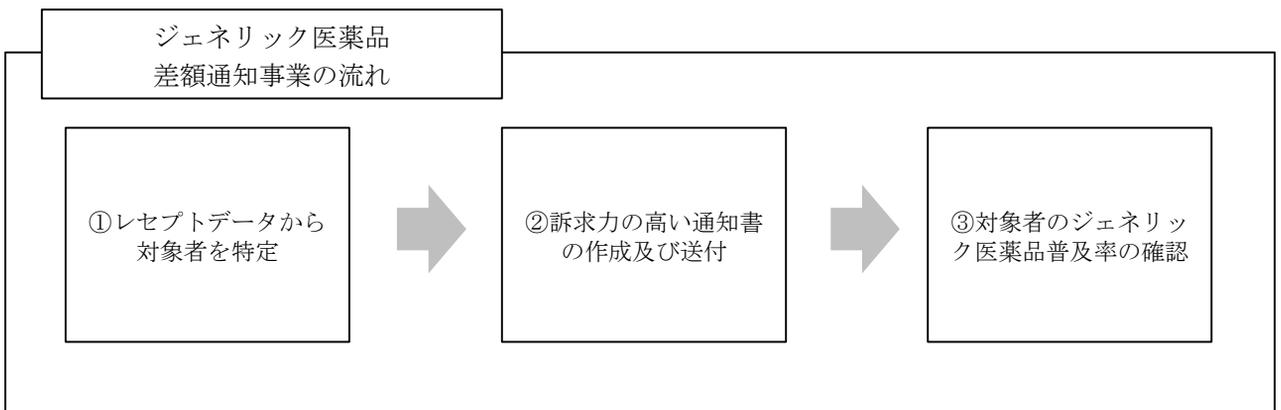
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



通知書デザイン

〒123-4567 0000000001
 京都府△△市□□1-2-3
 国保 一部 様

1234567890
 0000000001

あなたのお薬代を安くできます！
 家計にやさしいジェネリック医薬品

この通知書の送付を希望されない方は、お手数ですが
 ○印を印刷面を全紙
 までご連絡ください。
 電話 0123-45-6789

○印印刷面を全紙
 〒456-7890
 京都府○○市□□4-5-6

ジェネリック医薬品に関するお知らせ

皆様の医療費負担を軽減する対策の一つとして、現在処方されている医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合にお薬代がぐっと軽減できる場合があります。その一例をお知らせいたします。

ジェネリック医薬品はこんなお薬です

ジェネリック医薬品は、**効き目や安全性が実証されているお薬（先発医薬品）と主成分が同一であることなどが審査され、国から製造・販売が承認された安価なお薬です。**
 なお、先発医薬品と全く同じではなく、形や添加剤、色、味などは異なる場合があります。

なぜ安いのですか？
 先発医薬品の開発には多額の費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発費用が少なく、コストが低いため、価格も安くなっています。

効き目と安全性は？
 先発医薬品の特許が切れた後に製造された、このままでも効き目や安全性が実証された先発（先発医薬品）と主成分が同一のお薬です。

特許満了 アータ公開
 実用性 権利の消滅 ジェネリック医薬品の開発

ジェネリック医薬品を処方してもらうには？

病院・診療所にて
 先生、このお薬はジェネリック医薬品に切り替えますか？
 はい、このお薬から切り替えますよ。
 先生、このお薬はジェネリック医薬品に切り替えますか？
 はい、このお薬から切り替えますよ。

薬局にて
 3種類のお薬が出ていますが、お薬がジェネリック医薬品に切り替わりますか？
 はい、このお薬から切り替えますよ。

医師・薬剤師に相談してみよう！

※処方せんの「薬名不明」欄に特約サインがつけば、薬局でジェネリック医薬品に変更できます。

お問い合わせ先
 (このお知らせに関するお問い合わせ)
 ☎ 0120-433-400
 ※10:00～17:00 (土日・祝日も除く)
 ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の軽減可能額に関するお知らせ

国保 一部 様

ジェネリック医薬品は、みんなの医療費負担が軽くなるお薬です。

平成 ○年 ○月 の処方実績から

あなたが支払ったお薬代* 2,630 円

ジェネリック医薬品に切り替えたお薬代** 1,450 円

前 1,180 円

※お薬代は、お薬の処方量に比例して変動します。

このお知らせ^{※2}では、過去にあなたに処方された主なお薬^{※1}を、主成分が同一のジェネリック医薬品^{※2}に変更した場合に軽減可能なお薬代を参考までにご紹介しております。ジェネリック医薬品への変更は、かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

平成○年○月分の処方実績				ジェネリック医薬品 ^{※2} に切り替えることで軽減できる金額
医療機関・薬区分	お薬の名称	数量	お薬代 ^{※1} (3割負担)	
薬局	お薬A 5mg	30.0 錠	1,010 円	430 円 程度
薬局	お薬B 5mg	30.0 錠	990 円	350 円 程度
薬局	お薬C 0.2mg	90.0 錠	1,630 円	410 円 程度
合計			2,630 円	1,180 円 程度

※1 お薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、お薬(以外)の診療や調剤等に要する費用が含まれています。お薬代が下がっても、処方せん料などの有無により、医療保険の支払金額は先発医薬品使用時と変わらないか、上がることもあります。また、賞与所得計上が医療費控除を受けている場合には、実際の支払金額と異なる場合があります。

※2 薬局に支払ったお薬代に対して、このお知らせ発行時点でジェネリック医薬品として認定を受けているお薬に置き換えた場合、どの程度お薬代が軽減できるかを紹介しております。ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があります。実際の軽減額にも幅がありますので目安としてご参考ください。

※3 このお知らせは、医療機関・薬局の主治の処方データに基づき作成されております。軽減できる金額が大きいものから順に印刷しており、このお知らせに記載しきれない場合があります。なお、一部の金額表示につきましては、10円未満の捨て、および100円未満切り捨てで表示させていただいております。

※4 このお知らせに記載しているお薬は、生活習慣病(高血圧症、糖尿病、高脂血症等)や慢性疾患(喘息、リウマチ等)で長期服用をされている患者様を中心としており、短期処方のお薬等は記載していません。

※5 先発医薬品とジェネリック医薬品とは主成分が同一ですが、使用できる病状(効能)が異なるなどの理由で切り替えることができない場合があります。また、全てのジェネリック医薬品にジェネリック医薬品があるわけではなく、同じ医薬品(先発医薬品やジェネリック医薬品)であっても、個人によって効き方や副作用などは異なる場合がありますので、医薬品に関する詳しい内容は医師・薬剤師にご相談ください。

0000000001

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
・年4回差額通知を発送	短期	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)の前年度増 翌年度に連合会の帳票により毎月普及率を記録し、4月から3月の年間平均を算出
	中長期	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80% 普及率推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

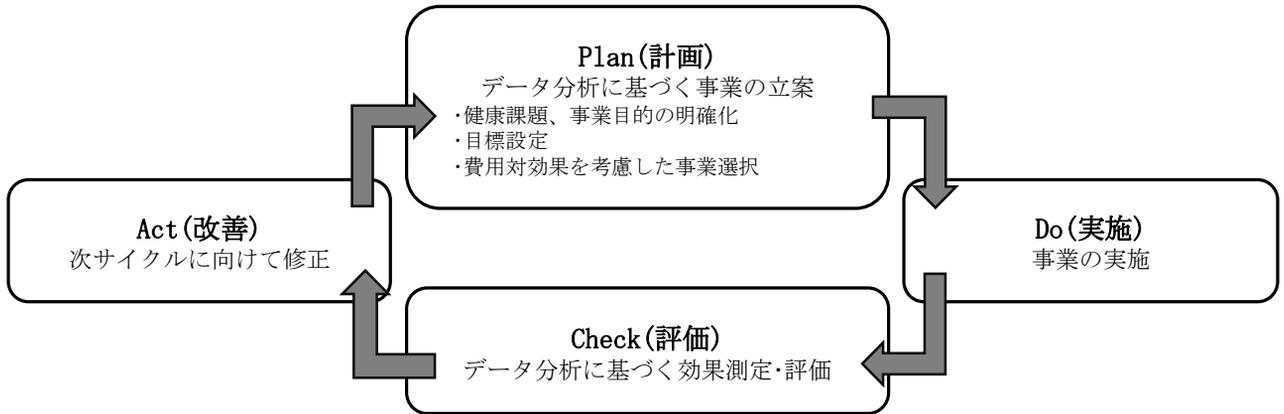
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成31年度)	←												
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成32年度)	←												
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成33年度)	←												
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成34年度)	←												
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成35年度)	←												
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←											
		指導実施	←											
	C(効果測定)	効果測定	←											
		効果確認	←											
	A(改善)	改善計画	←											
P(計画)	実施計画策定(平成36年度)	←												



1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行います。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図ります。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めます。

3. 事業運営上の留意事項

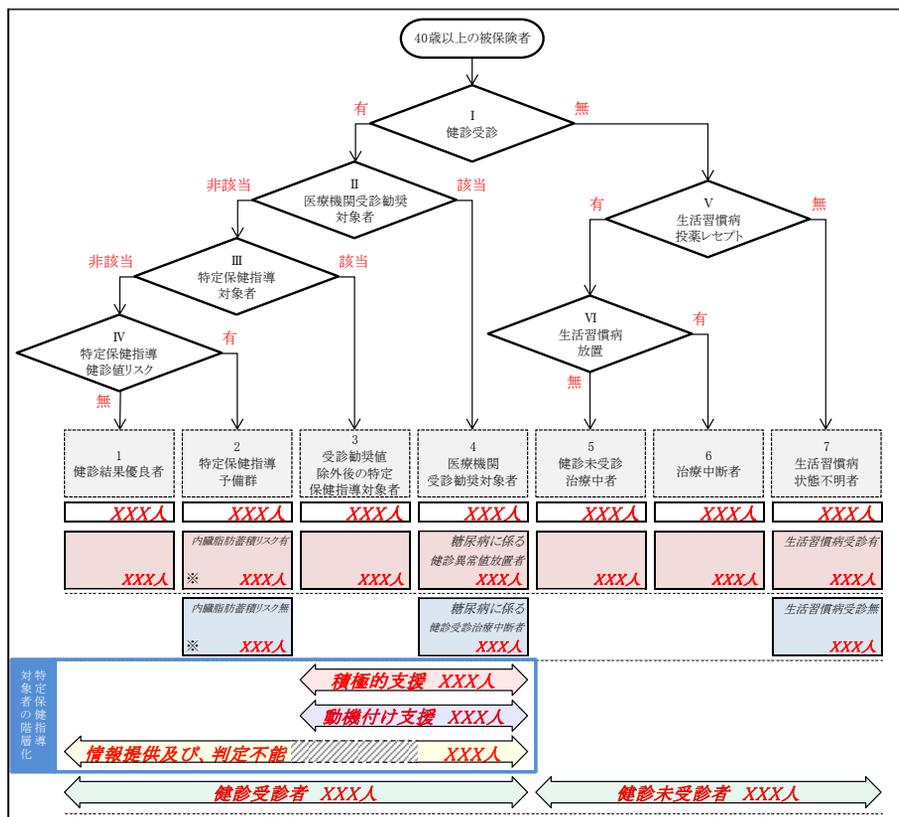
保健事業の推進に当たっては、一般衛生部門等との連携が重要になります。地域全体の健康課題を底上げするためのポピュレーションアプローチの実施等は一般衛生部門との連携により事業を実施します。

4. 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理します。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとします。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
 - 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 糖尿病に係る健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に糖尿病に関する医療機関受診がない者。
 - 糖尿病に係る健診受診治療中断者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に糖尿病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後糖尿病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
 - 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3ヶ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、6か月後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健診の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	安倍内閣が掲げる成長戦略。日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード		主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化(症)	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化(症)	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧(症)	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]〈感冒〉	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV . 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大(症)	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	ABO因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		